

リシエント玄関引戸

取付け説明書



取付けにあたって

- ご使用前に、「取付け説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この説明書に掲載の商品は、使用用途・場所などを限定するもの、専門施工を必要とするもの、定期点検を必要とするものがあります。販売店又は専門施工店にご確認ください。
- 商品には安全にお使いいただくための本体表示ラベルが張ってあるものがあります。ご使用の際はご確認の上、正しくお使いください。

目次

■組立て・取付けされる方へのお願い	1・2
■「リシェント玄関引戸」は	3
■取付け工程モデル	4
■納まり参考図	5～10
■製品の組立て	11～13
■製品の取付け	14～34
■取付けチェックポイント集	35～38

組立て・取付けされる方へのお願い

■組立て・取付けされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …組立て・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

- 本製品は、木造・土間納まり専用です。外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。
- 躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず 20mm 以上にしてください。製品強度の不足で障子・枠の脱落の原因になります。
- 躯体に取付ける際は、枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法 20mm の時、 $1.2\text{N} \cdot \text{m}$ ($12\text{kgf} \cdot \text{cm}$) 以上にしてください。
製品強度の不足で障子・枠の脱落の原因になります。
- 下枠段差緩和材の取付けは注意事項をお守りください。両面テープの接着力が低下し、下枠段差緩和材が外れ、思わぬケガをするおそれがあります。
- 既設枠に取付ける際は、強度保持のため、新しい枠と既設枠のかかり寸法を 68mm 以上にしてください。
製品強度の不足で、障子・枠脱落の原因になります。
- かい物を入れる場合は、十分に強度が保てるものを使用してください。製品強度の不足で、障子・枠脱落の原因になります。

■組立て上のおお願い

- 必ず指定のねじで組立てしてください。
- 枠の組立てねじは $2.5 \pm 0.5\text{N} \cdot \text{m}$ ($25 \pm 5\text{kgf} \cdot \text{cm}$) の締付けトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠用 L アングル（別途有償品）を枠組立て時に取付けてください。
- 巾木を取付ける場合は、巾木アタッチメント（別途有償品）を枠組立て時に取付けてください。

■取付け上のお願

- 必ず指定の取付けねじで固定してください。
- 現場取付けに入る前に製品基本寸法が現場と合っていることを確認してください。
- 内外の額縁は現場の納まりに合わせて切詰めてください。

〔ねじかかり寸法の確認〕

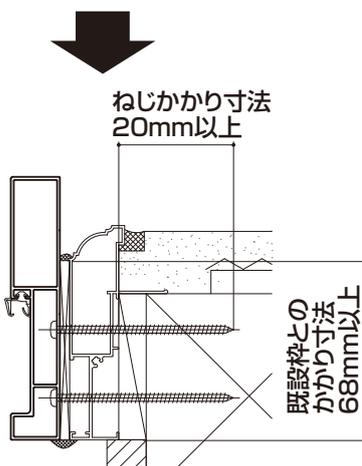
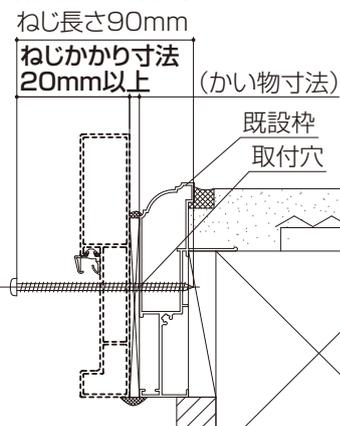
躯体にねじ止めする前に、既設枠の取付け穴にねじを入れ、取付け穴からねじ頭までの長さが20mm以上であることを確認してください。

※ねじ長さ 90mm

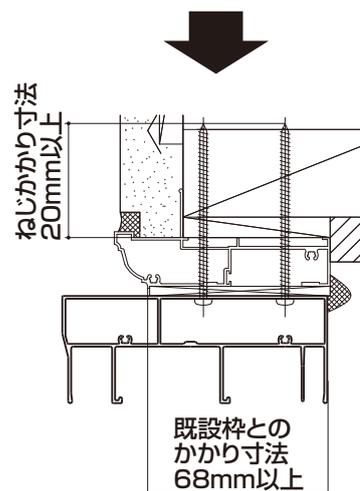
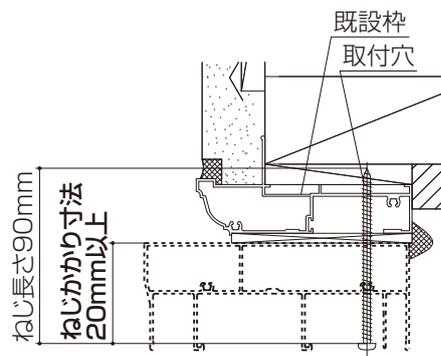
▲注意

- 製品の強度確保のため、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。

(縦枠の場合)



(上枠の場合)



〔取付ける柱のねじ込みトルクの確認〕

製品を取付ける前に取付ける柱に腐りがなく、枠の取付けねじのねじ込みトルクが1.2N・m (12kgf・cm) 以上であることを確認してください。

▲注意

- 躯体に取付ける際は、製品の強度確保のため、取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法20mmの時、1.2N・m (12kgf・cm) 以上にしてください。
- 既設枠に取付ける際は、強度確保のため、新しい枠と既設枠のかかり寸法を68mm以上にしてください。

「リシエント玄関引戸」は…

- 『リシエント玄関引戸』は、既設の引戸の上から新しい枠を取付ける、改装専用玄関引戸として設計されています。
- ご使用されている既設枠に本製品が問題なく納まるかどうかについては現場調査を行った上でご判断ください。

■製品特長

1. 枠の取外し及び付帯工事が不要なため、外壁や内装をキズつけません。
2. 部材の加工・組立てが簡単です。
3. 内外の額縁に調整幅が設けてあるため、どんな枠にもきれいに納まります。
4. 内外の額縁の調整とシーリングだけで、雨仕舞いなどの仕上げが完了します。

取付け工程モデル

取付け工程

概要

お施主さまとの打合わせ

- 現場を確認し、既設玄関への取付可否を調査します。
- 使用する製品のタイプを決定・見積りし、工事希望日を確認します。
- 製品を発注し、納入日を確認後工事日を決定します。

取付け前の作業

- ガラス・ビード・別途有償品を手配します。

製品の組立て

- 工事日までに製品を組立てます。

既設引戸の取外し

- 製品基本寸法が現場に合うことを確認します。
- 工具を準備し、外枠だけ残して順に取外します。

新しい枠・障子の取付け

- 開口部の水平・垂直を正しく出し、新しい枠と障子を取付けます。
- 建付け調整をします。

枠外周部のシーリング処理

- 雨仕舞いの処理のため、シーリングをします。
- ※シーリング箇所は納まり参考図を参照してください。

額縁の取付け

- 納まりに合わせて、額縁を切詰めます。
- 納まりに合う位置に、額縁を取付けます。
- 溝フタを取付けます。

額縁外周部のシーリング処理

- 雨仕舞いの処理のため、シーリングをします。
- ※シーリング箇所は納まり参考図を参照してください。

ガラス入れ・部品の取付け

- ガラスを入れ、部品などを取付けます。

お引渡し

- お施主さまに製品を引渡します。

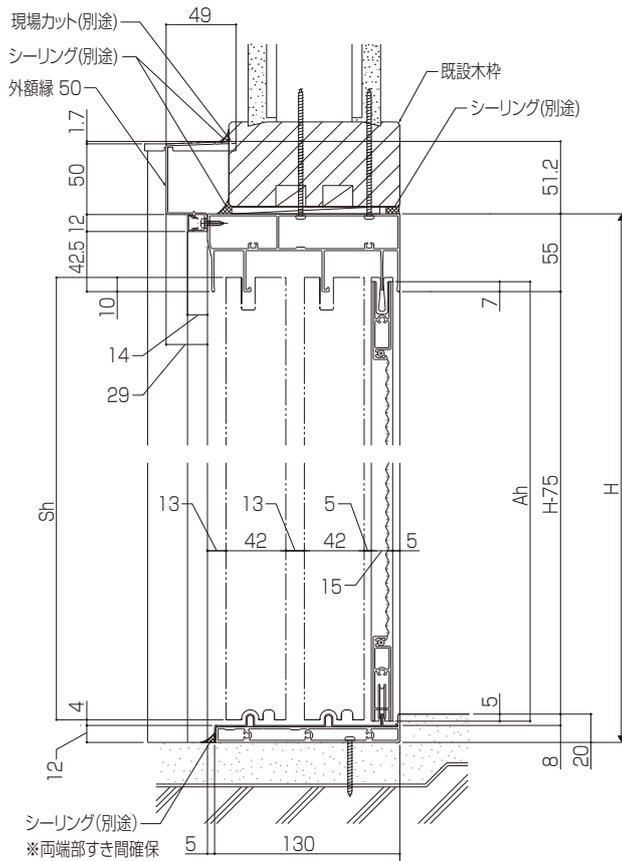
納まり参考図

■木枠納まり (PG仕様)

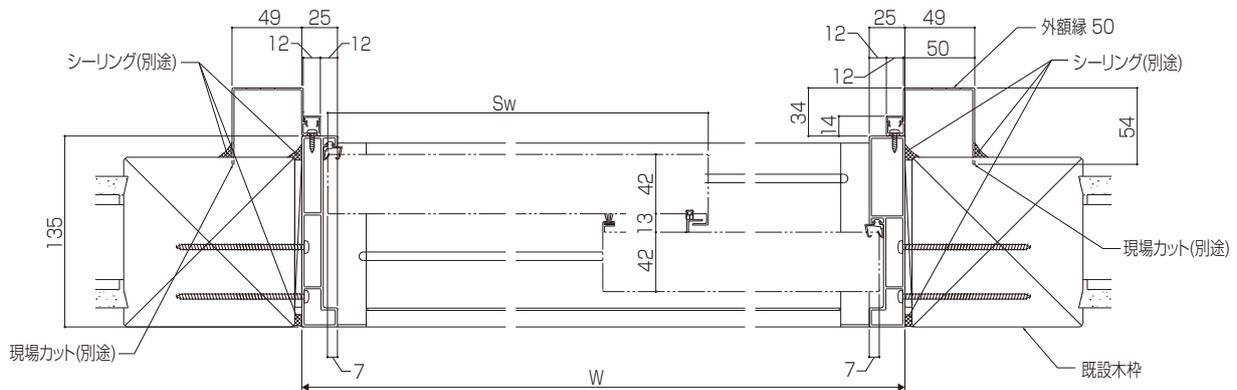
●本体部 (縦断面図)

〔ランマなし〕

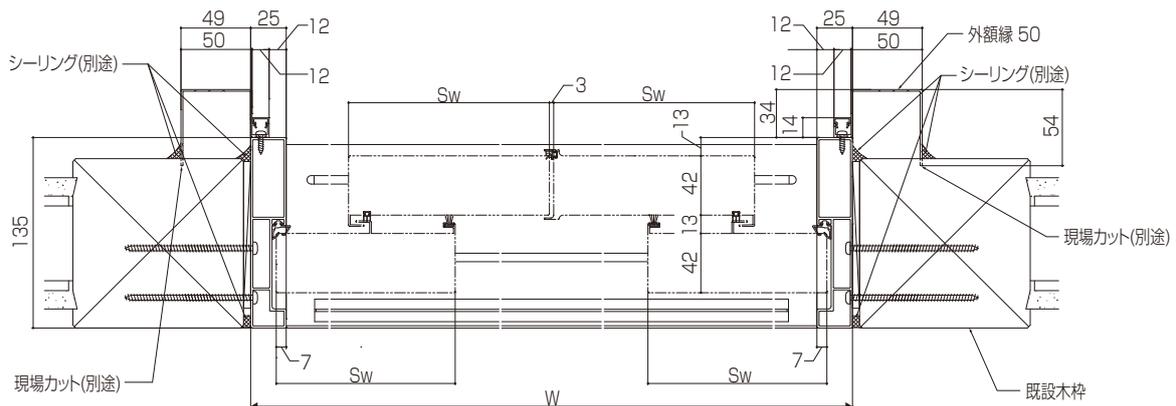
※ F型は障子厚が
異なります。



●本体部 (横断面図) 《2枚建》



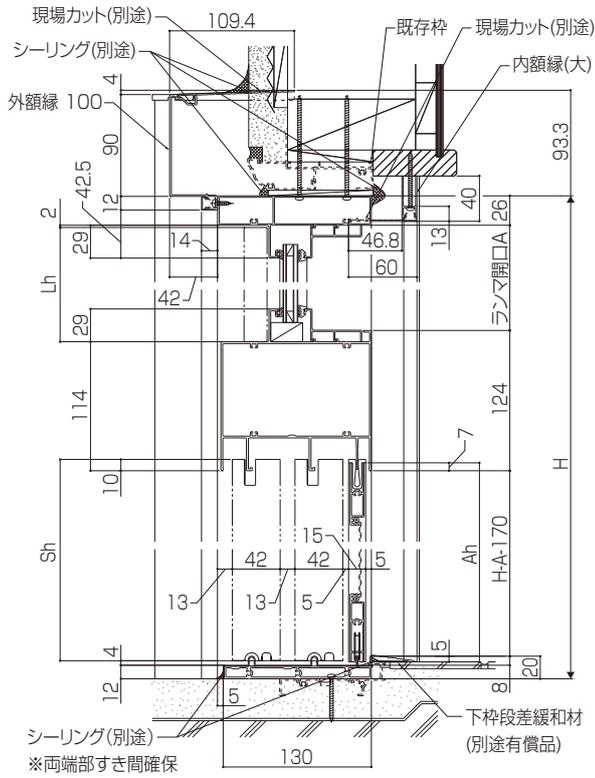
●本体部 (横断面図) 《4枚建》



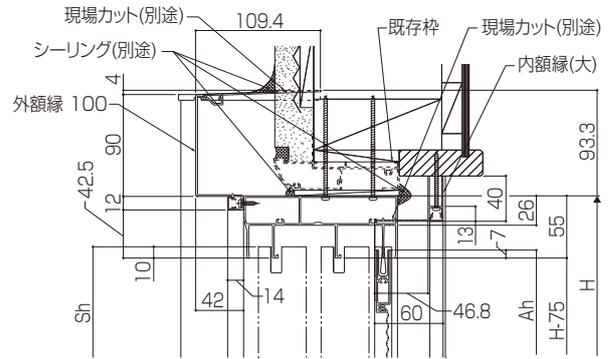
■アルミ枠納まり (PG仕様)

●本体部 (縦断面図)

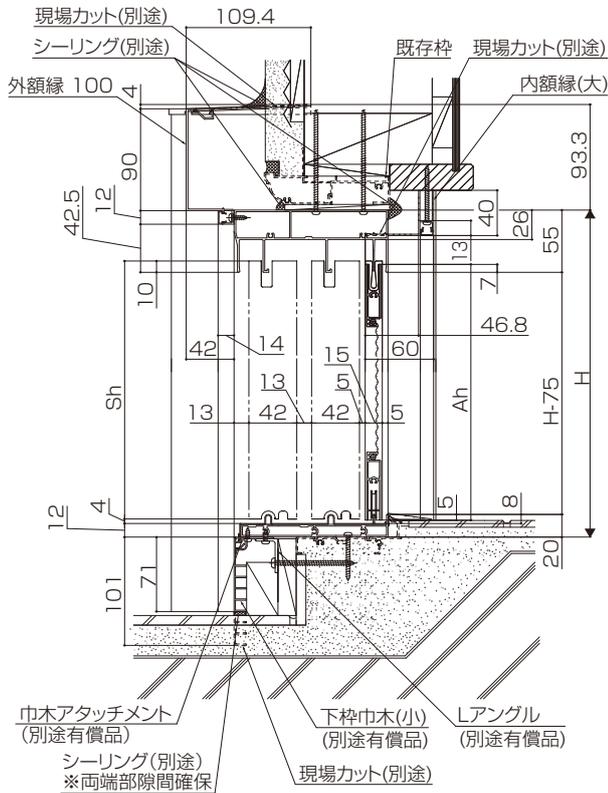
〔ランマ付き〕 ※ F型は障子厚が異なります。



〔ランマなし〕



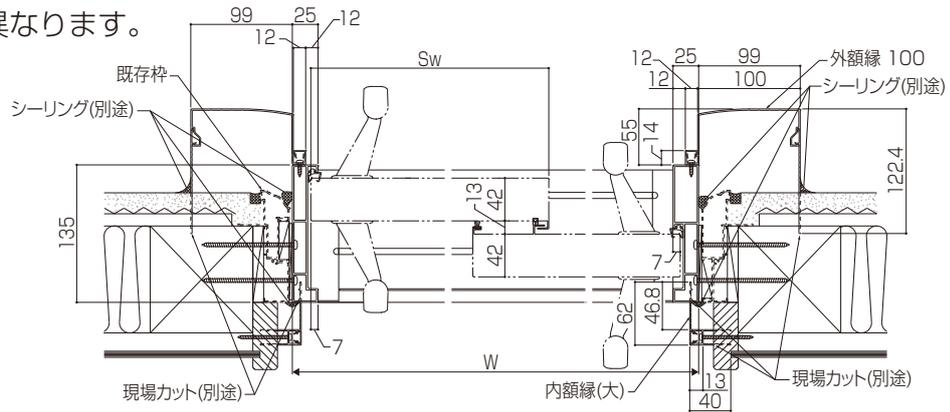
〔巾木納まり〕



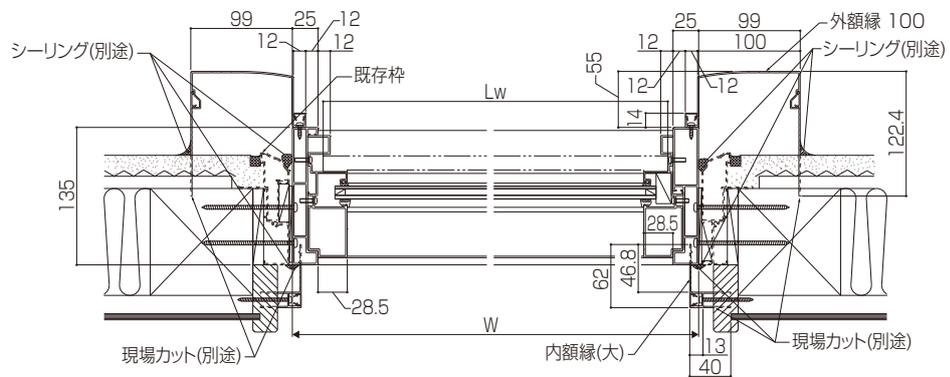
■アルミ枠納まり (PG仕様)

●本体部 (横断面図) 《2枚建》

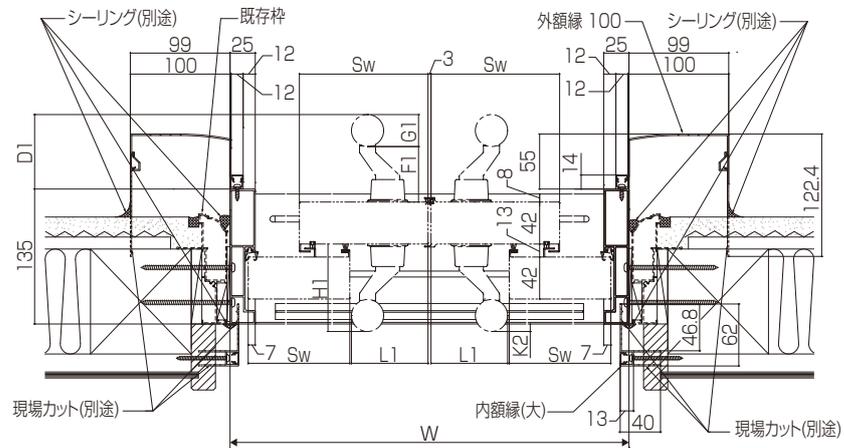
※ F 型は障子厚が異なります。



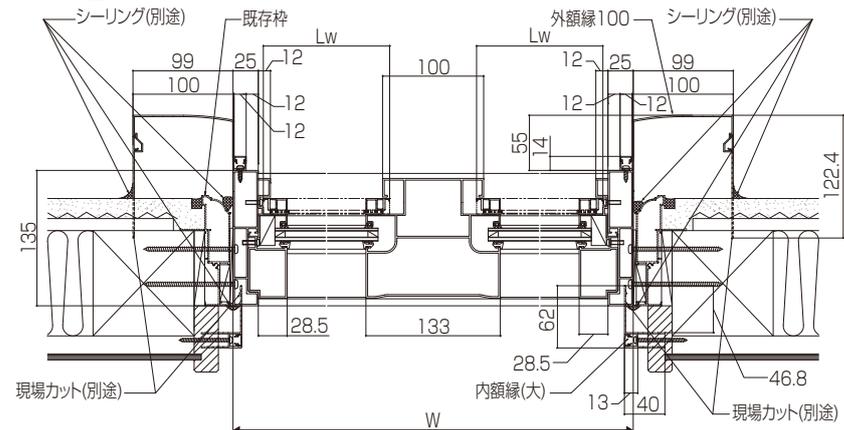
●ランマ部 (横断面図) 《2枚建》



●本体部 (横断面図) 《4枚建》



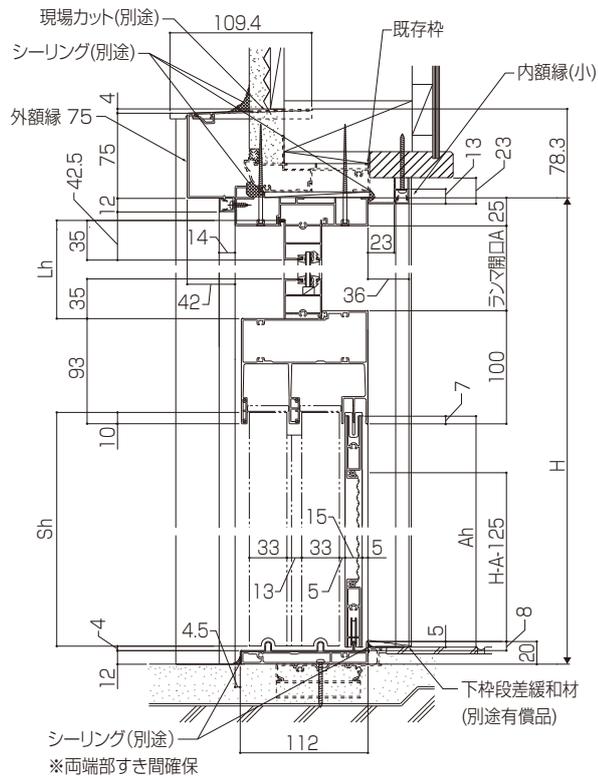
●ランマ部 (横断面図) 《4枚建》



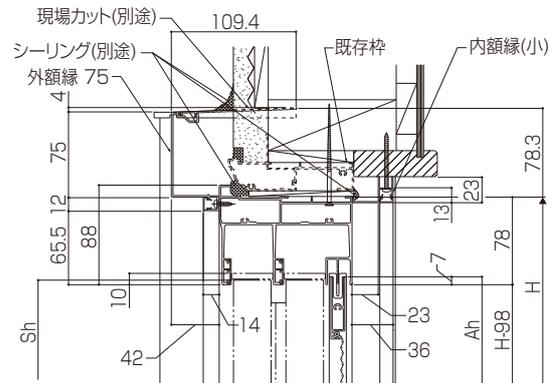
■アルミ枠納まり (SG仕様)

●本体部 (縦断面図)

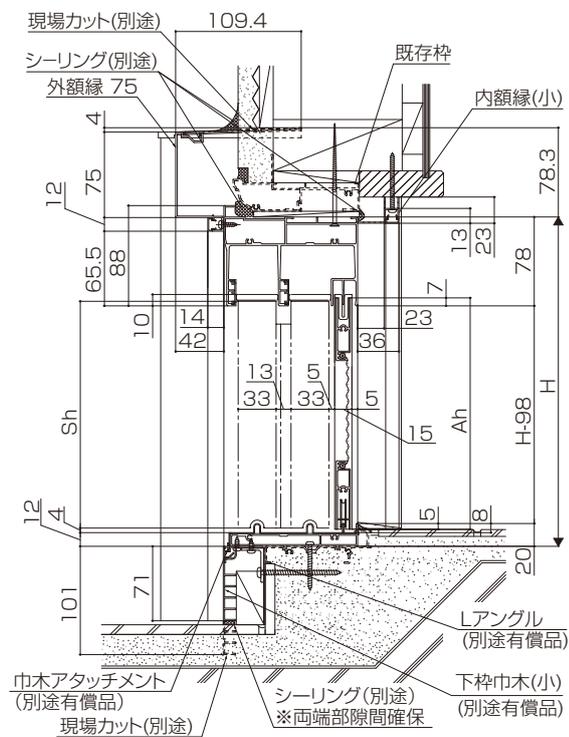
〔ランマ付き〕



〔ランマなし〕



〔巾木納まり〕

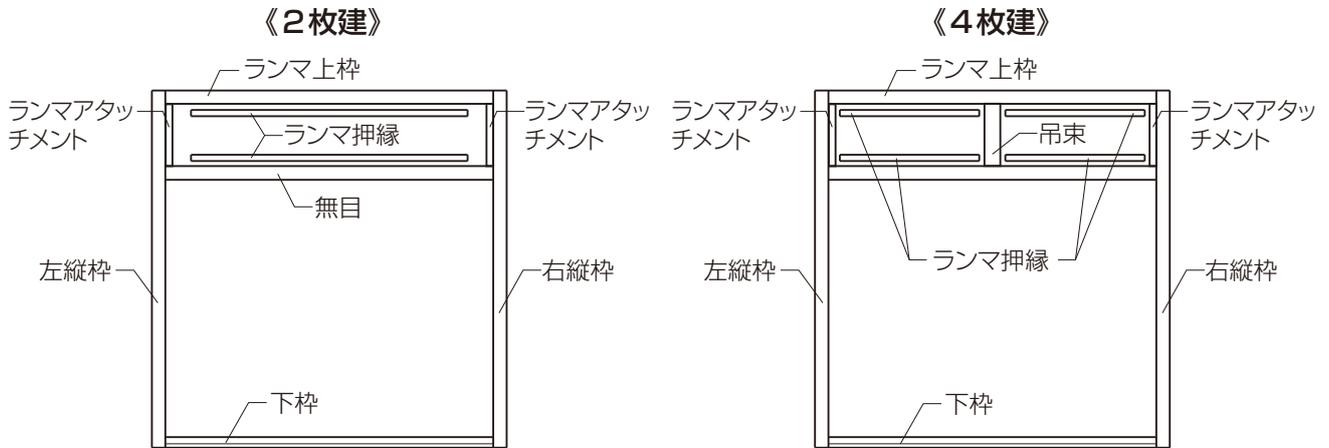


製品の組立て

■部材構成図 (PG仕様)

■枠

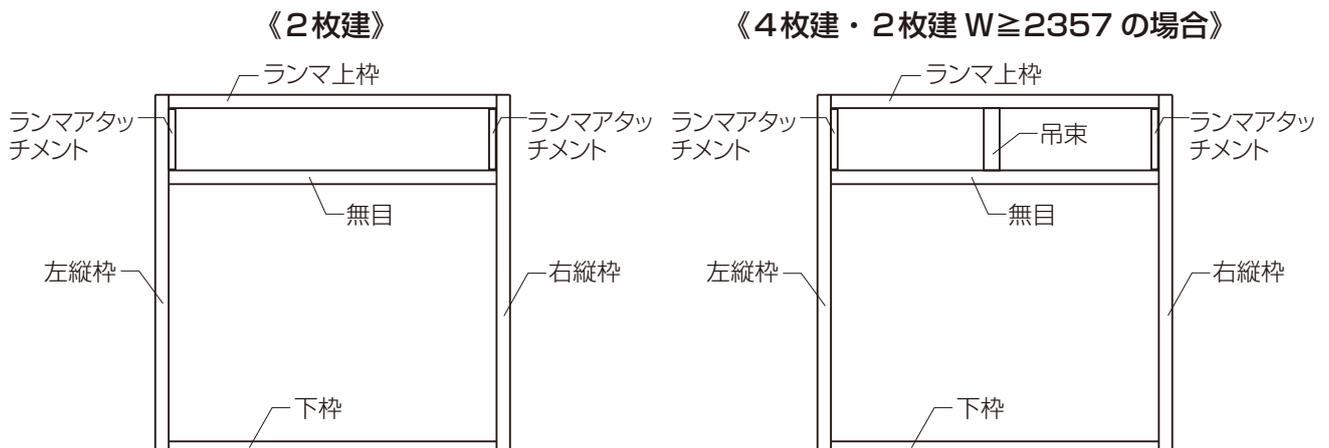
●ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、ランマ押縁はありません。



■部材構成図 (SG仕様)

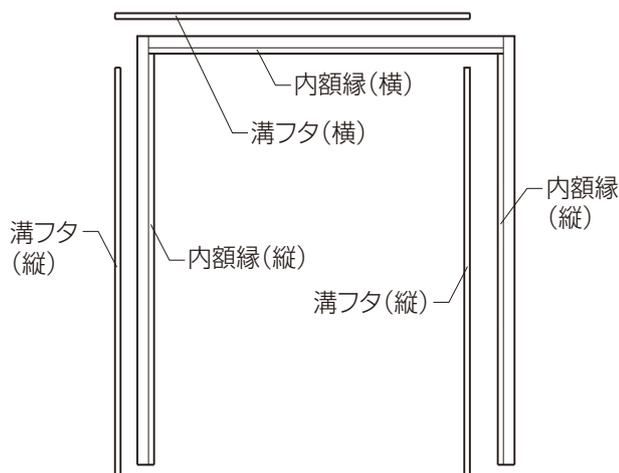
■枠

●ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、吊束はありません。

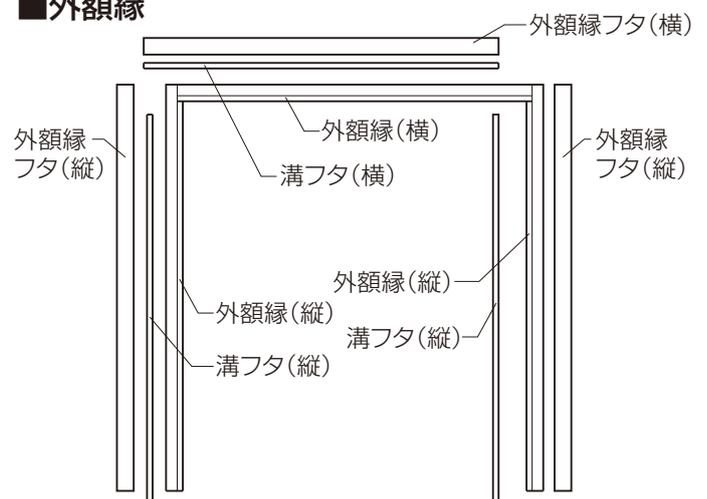


■部材構成図 (PG・SG仕様共通)

■内額縁



■外額縁



■組立て作業前の確認事項

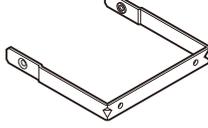
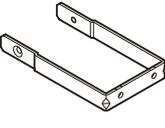
- 巾木アタッチメントをご使用される場合は、枠の組立て前に下枠へ先に取付けることをお勧めします。
- 枠を組立て、製品の取付けをした後では巾木アタッチメントが取付かないためご注意ください。

■組立てされる方へのお願い (PG仕様)

- 必ず指定のねじで固定してください。
- 枠の組立てねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } の締付けトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠用Lアングル (別途有償品) を枠組立て時に取付けてください。(P.32)
- 巾木を取付ける場合は、巾木アタッチメント (別途有償品) を枠組立て時に取付けてください。(P.32)

■ねじ一覧表 (PG仕様)

■吊束固定用金物 (吊束ありの場合のみ)

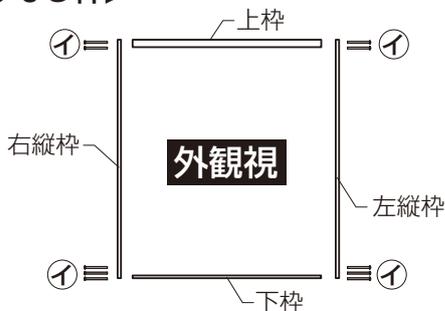
①	㊦	㊧	㊨	㊩
				
バインドタッピン ねじφ4×45	吊束固定金具 B	吊束固定金具 C	バインド小ねじ M4×14	皿小ねじ M4×14 (D8)

■組立て順序 (PG仕様)

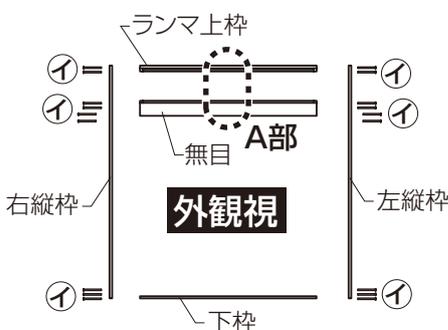
■枠の組立て

- 図に従って枠を組立てます。
- ※図中①～㊩は、部品・ねじの種類を表します。

〔ランマなし枠〕



〔ランマ付き枠〕



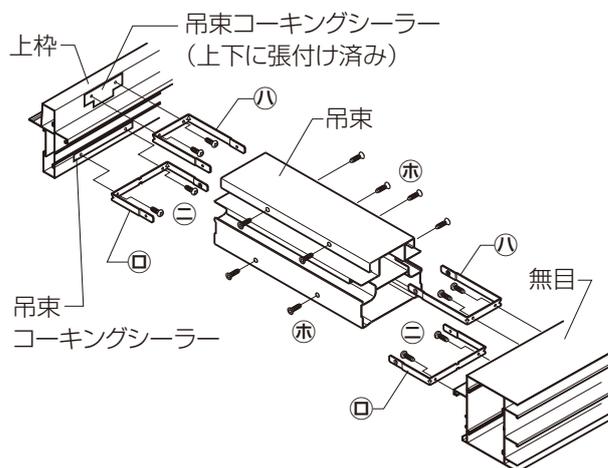
※ランマ付き枠の場合、上枠を最後に組立ててください。

無目が最後だと組立てにくくなります。

※ランマ飾りの取付けはランマ飾りに同梱の取付け説明書をご覧ください。

■A部詳細図 (吊束ありの場合のみ)

- ①吊束固定金具を上枠・無目に固定します。
 - ②吊束を金具に合わせて差込み、ねじ止めします。
- ※コーキングシーラーの向きに合わせて吊束を取付けてください。



■組立てされる方へのお願い (SG仕様)

- 下枠組立ての際、絶縁ボスを下枠固定穴φ7に入れて固定してください。組ズレが発生し、腐食・障子の開閉が重くなる原因になります。
- 必ず指定のねじで固定してください。
- 枠の組立てねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } の締付けトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠用Lアングル (別途有償品) を枠組立て時に取付けてください。(P.32)
- 巾木を取付ける場合は、巾木アタッチメント (別途有償品) を枠組立て時に取付けてください。(P.32)

■ねじ一覧表 (SG仕様)

①	②
	
バインドタッピングねじ φ4×45	絶縁ボス付きバインド 小ねじ M4×25

■吊束固定用金物 (吊束ありの場合のみ)

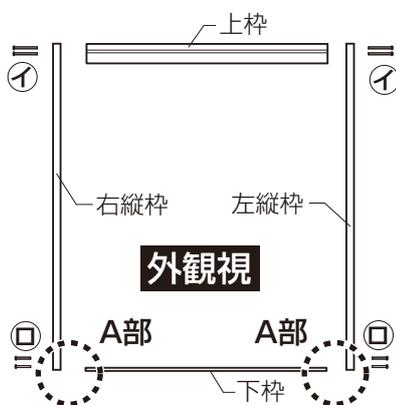
③	④	⑤	⑥
			
吊束固定金具	バインドタッピングねじ φ4×50(止水ワッシャー付)	バインド小ねじ M4×14	皿小ねじ M4×14(D8)

■組立て順序 (SG仕様)

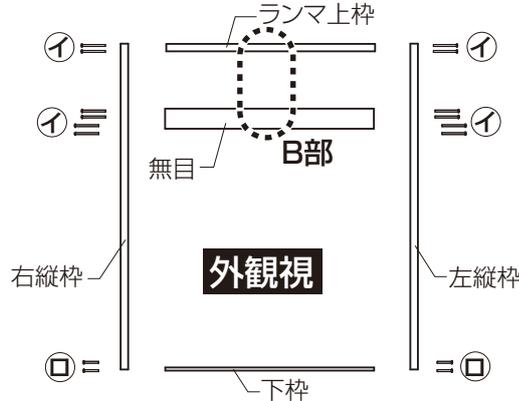
■枠の組立て

- 図に従って枠を組立てます。
- ※図中①～⑥は、部品・ねじの種類を表します。

〔ランマなし枠〕

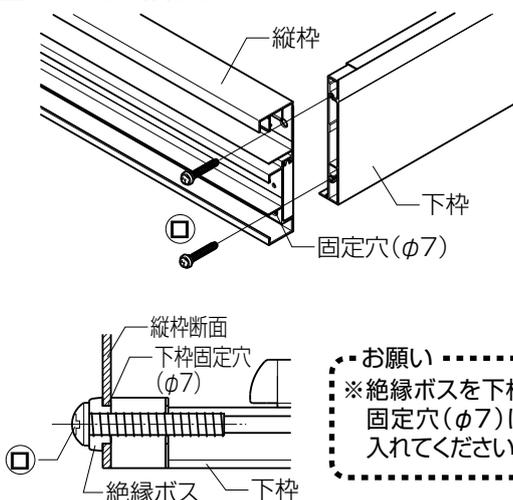


〔ランマ付き枠〕



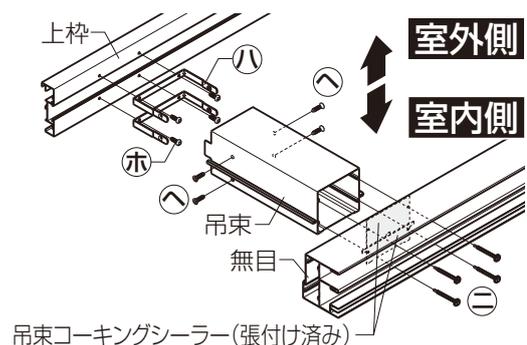
- ※ランマ付き枠の場合、上枠を最後に組立ててください。
- 無目が最後だと組立てにくくなります。
- ※ランマの取付けはランマに同梱の取付け説明書をご覧ください。

■A部詳細図



■B部詳細図 (吊束ありの場合のみ)

- ①吊束固定金具を上枠に固定します。
 - ②吊束を金具に合わせて差込み、ねじ止めします。
 - ③無目の取付け加工部を吊束のタッピングホール部に合わせてねじ止めします。
- ※コーキングシーラーの向きに合わせて吊束を取付けてください。



製品の取付け

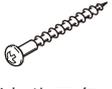
▲ 注意

- 本製品は、土間納まり専用です。外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。
- 躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず 20mm 以上にしてください。製品強度の不足で障子・枠の脱落の原因となります。
- 躯体に取付ける際の枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法 20mm の時 1.2N・m (12kgf・cm) 以上にしてください。製品強度の不足で障子、枠の脱落の原因となります。

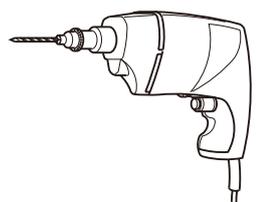
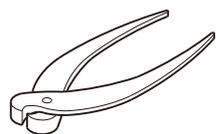
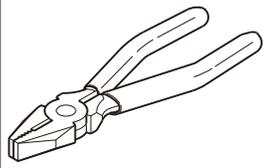
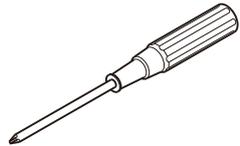
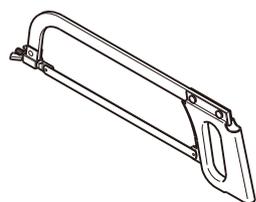
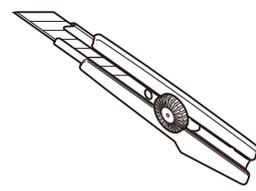
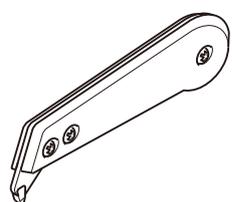
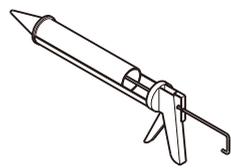
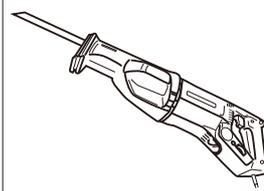
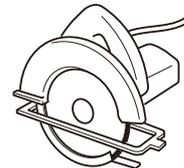
- 現場取付けに入る前に、製品基本寸法が現場と合っていることを確認してください。
- 必ず指定の取付けねじで取付けてください。
- 内外の額縁は、現場の納まりに合わせて切詰めてください。

■取付けねじ一覧表

※取付けねじ本数は、取付け穴より多めに入っている場合があります。

①	②	③	④	⑤
上枠・縦枠用 (PG 仕様)	上枠・縦枠用 (SG 仕様)	穴ふさぎ用 (PG 仕様のみ)	下枠取付け用	下枠ステンスレール取付け用
				
なべタップピンねじ φ 4 × 90 (1 種)	皿タップピンねじ φ 4 × 90 (D7)	プッシュボタン	なべセルフタップピン アンカーねじ φ 4 × 40	薄平タップピンねじ φ 4 × 8

■使用工具一覧表

電動ドリル・電動ドライバー	くい切り	ペンチ	プラスドライバー	鉄ノコ
				
カッター	プラスチックカッター	コーキングガン	セーバーソー	丸ノコ
				

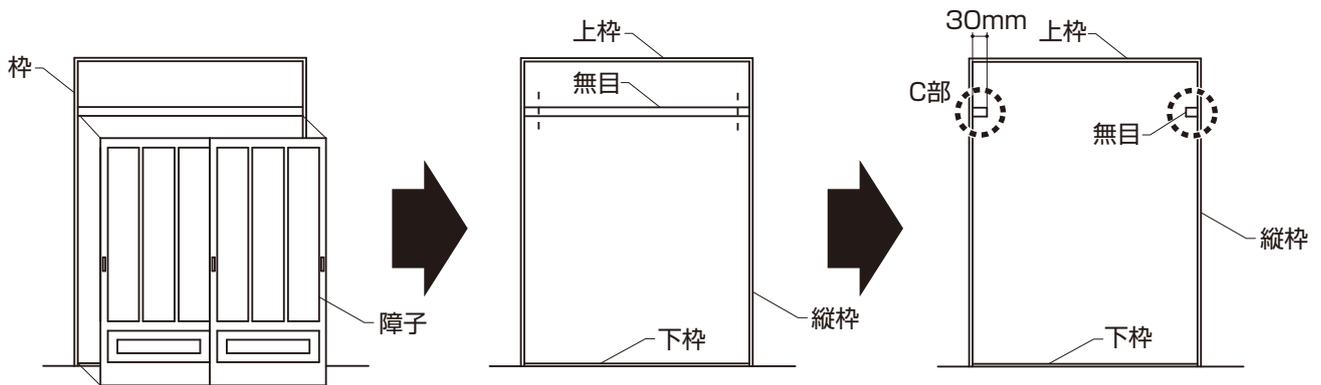
※その他工具

■既設障子の取外し

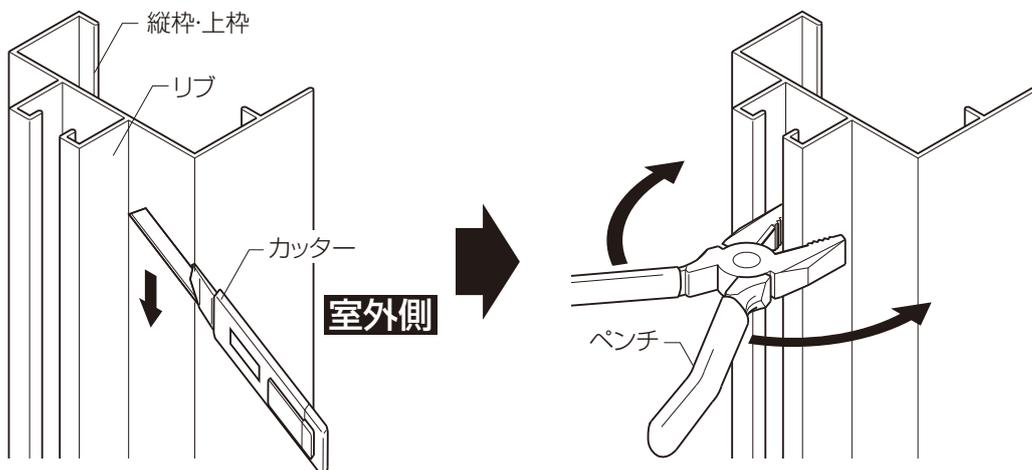
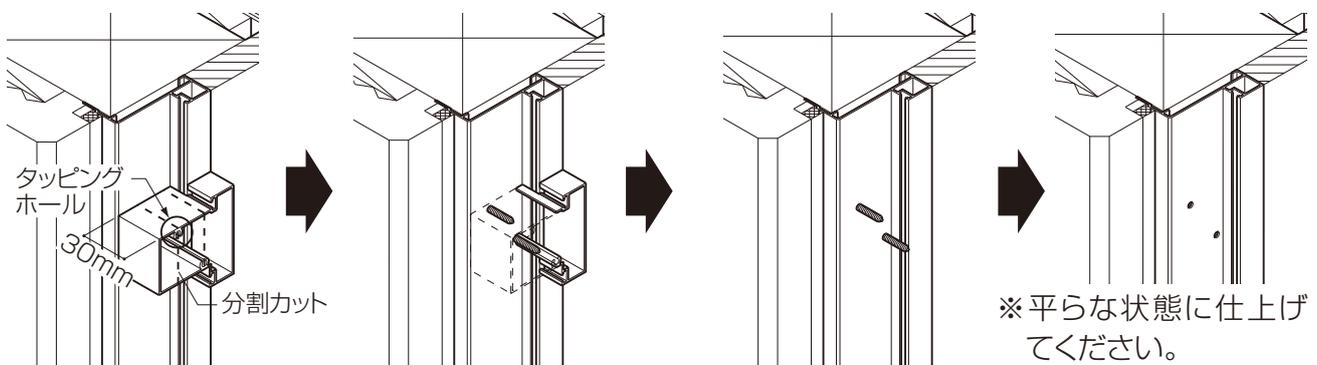
- ①既設の障子、押縁、ガラス、戸当りゴム、ストライク、障子ストッパー、網戸ストッパー、下枠レールを取外します。
- ②無目を切断して取除き、外枠（上枠・縦枠・下枠）のみ躯体に残します。

〔既設枠がアルミ型材の場合〕

- ①無目は、縦枠・下枠などとの連結部から約30mm残して切取ります。
- ②切り残した部材は、タッピングホール付近を分割して取りやすい状態にして外します。
- ③外枠に残ったねじを、くい切りなどで切断します。
- ④取付けに支障のあるリブが縦枠・上枠にある場合は（下図）、室外側のリブの付け根にカッターなどにて強く押当ててキズをつけ、ペンチで折取ります。



■C部詳細図

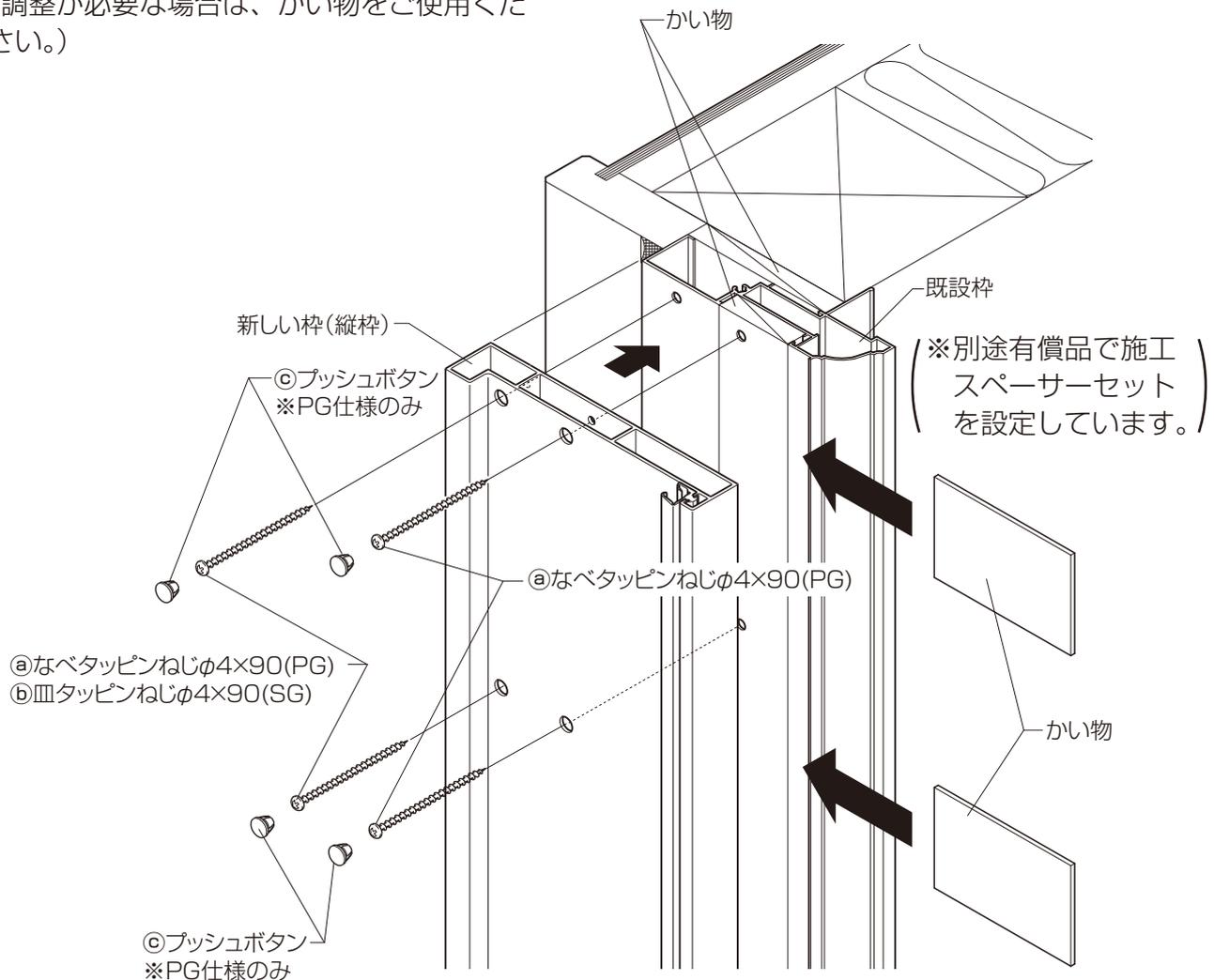


■新しい枠の取付け

※取付けの図は、すべてのPG仕様2枚建ランマ付で説明しています。

- ①新しい枠の水平・垂直を正しく出します。
(調整が必要な場合は、かい物をご使用ください。)

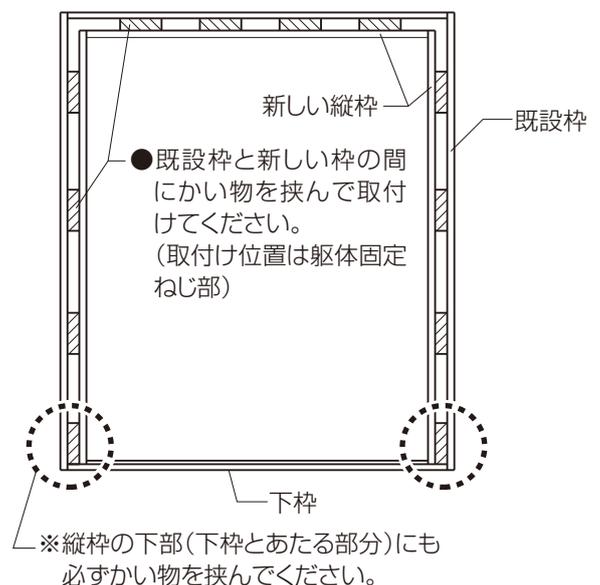
●縦枠側



▲注意

- 躯体に取付ける際は、製品の強度確保のため、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。障子・枠の脱落の原因になります。

- ②取付け位置決定後、新しい枠(上枠・縦枠)の取付け穴より、既設枠にφ4.5、躯体にφ3の下穴をあけ、仮止めします。
- ③室内側躯体取付けねじから順に指定のねじで取付けます。



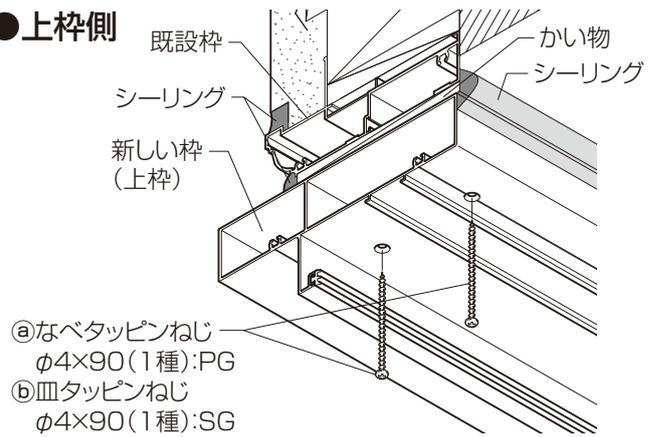
④⑤プッシュボタンをはめ込みます。

⑤既設枠と新しい枠の接合部にシーリング材を充てんします。

▲注意

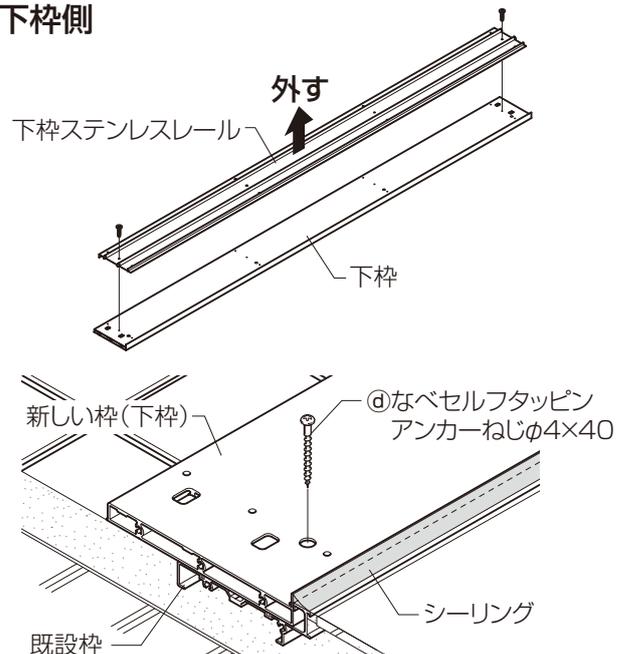
●外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。

●上枠側



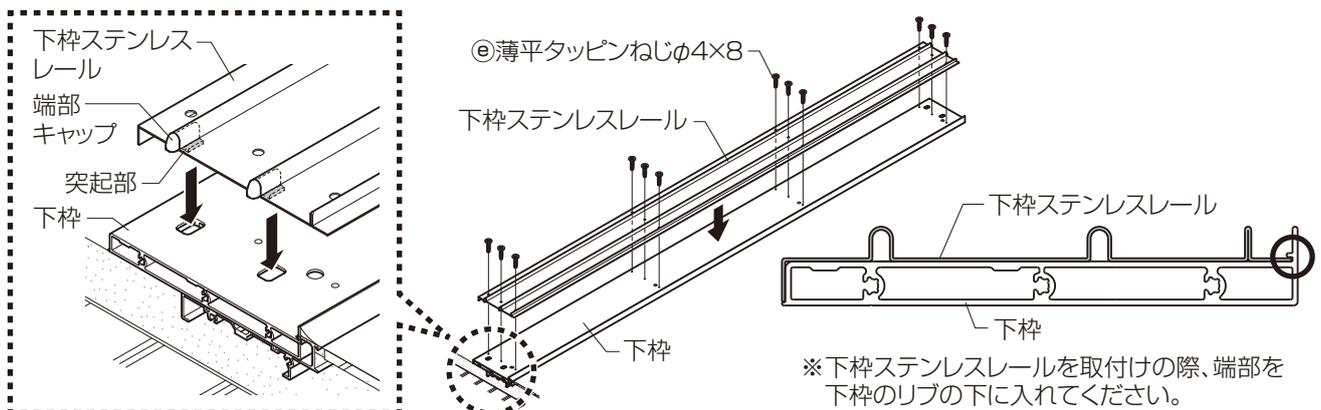
⑥下枠から下枠ステンレスレールを取外します。
(出荷時、下枠ステンレスレールは下枠に2カ所
ねじで固定されています。)

●下枠側



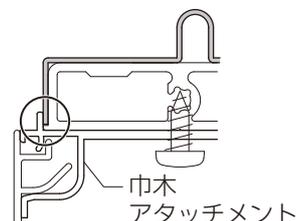
⑦下枠の取付け穴から既設下枠にφ3.5の下穴をあけ、④ナベセルフタッピンアンカーねじφ4×40で固定します。

⑧下枠ステンレスレール端部キャップをレール端部に差込んだ状態で、キャップの突起部を下枠の加工にはめ合わせ、⑥薄平タッピンねじで固定します。



■巾木アタッチメント(別途有償品)を取付ける場合

ステンレスレールの先端が必ず巾木アタッチと下枠の間に納まるように取付してください。



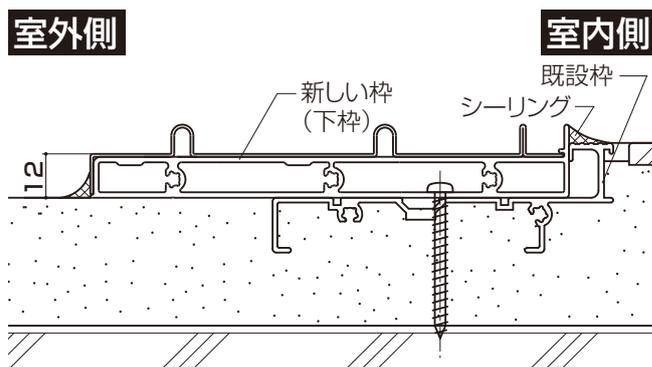
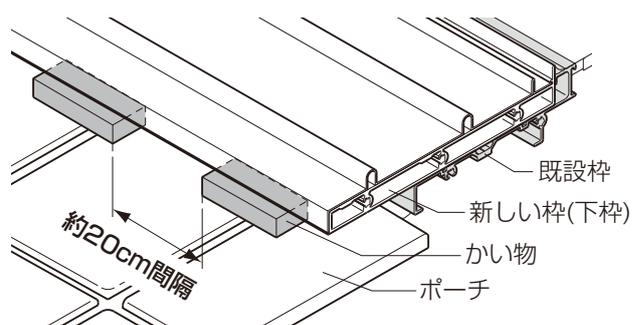
⑨下枠のたわみ防止のため、下枠と既設枠とのすき間にかい物を入れます。

※ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠用Lアングル（別途有償品）を枠組立て時に取付けてください。（P.32）

※巾木を取付ける場合は、巾木アタッチメント（別途有償品）を枠組立て時に取付けてください。（P.32）

⑩既設枠と新しい下枠の接合面（室内側）および、下枠（室外側）にシーリング材を充てんします。

※下枠部（室外側）については全面シーリングをせず、両端部から水が抜けるようにすき間を確保してください。



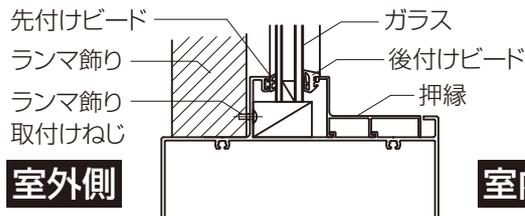
▲ 注意

- 外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。

■ランマ部のガラス入れ (PG仕様)

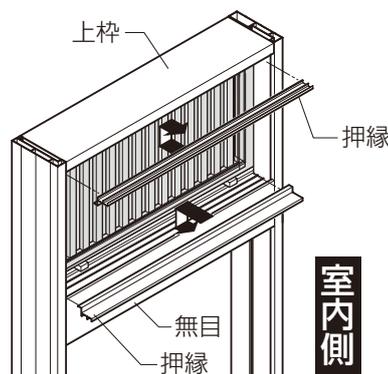
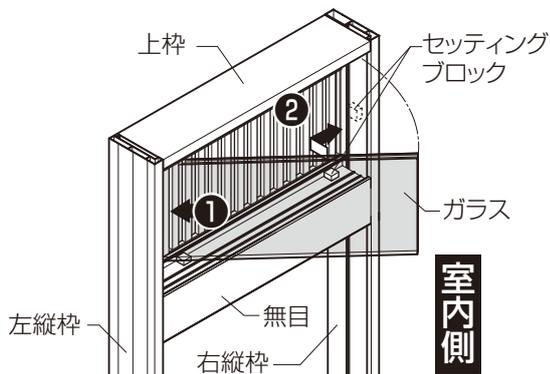
- ランマ部のガラスを入れる前に、ランマ飾りを取付けてください。
- ※ランマ飾りの取付けは、ランマ飾りに同梱の取付け説明書をご覧ください。

■ランマガラス取付け詳細

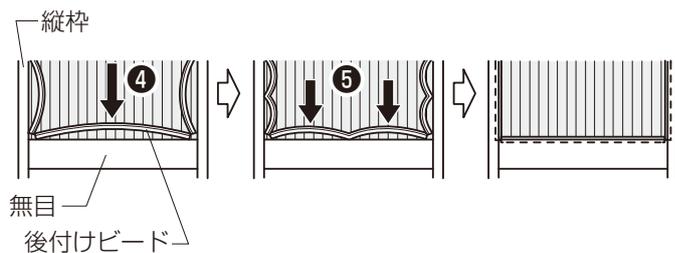
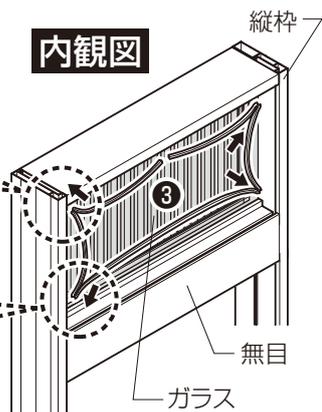


- ①内観左縦枠側よりガラスを入れます。
- ②右縦枠側にガラスを入れて、セッティングブロックに突き当てます。

- ③上枠・無目に押縁を入れます。



- ④-1 図の③のように余長を持たせて、四方に後付けビードをまわします。余長なく押し込むとビードが収縮し、外れや雨漏りの原因となります。
[後付けビードの余長の目安 1000mmあたり 30mm]
- ④-2 図の④⑤のように数箇所、均一にたわむように仮止めしてから押し込みます。



【ビードの押し込みがきつい場合】

後付けビードを 100 mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押し込んでください。

- ランマ付き枠の梱包内には、檜調、楨調用の場合のみガラス総厚さ 13mm (例: 3-6-4) 用の後付けビードが同梱されています。その他の場合は、ガラス厚に合わせた後付けビード (表 1) を参照の上、別途手配してください。

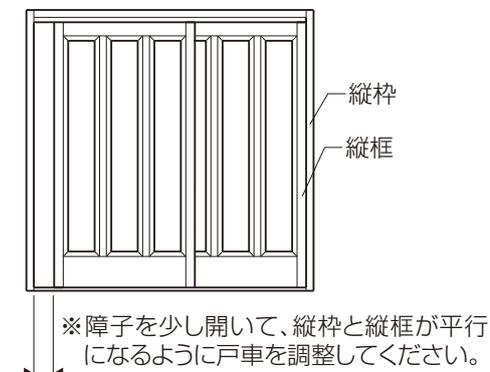
(表1) 後付けビード

ガラス厚	商品コード				
	12mm用	13mm用	14mm用	15mm用	16mm用
対応商品色	3+A6+3	3+A6+4	3+A6+5 4+A6+4	3+A6+6 4+A6+5	4+A6+6 5+A6+5
シャイングレー	A1F03	A1F04	A1F05	A1F06	A1F07
楨調	L1Y61	L1Y77	L1Y78	L1Y79	L1Y80
檜調	L1Y60	L1Y70	L1Y71	L1Y72	L1Y73
その他色	A3F03	A3F04	A3F05	A3F06	A3F07

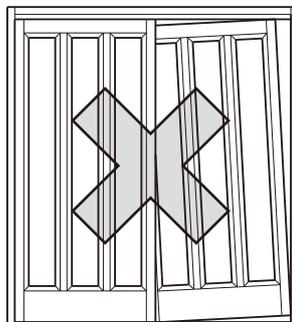
■障子の調整

■障子の建付け調整（戸車の調整）

- 戸車は、障子が最も下がった状態になるようにセットされています。
（戸車調整幅 SG・PG：上方に約 5mm）



【傾き状態】

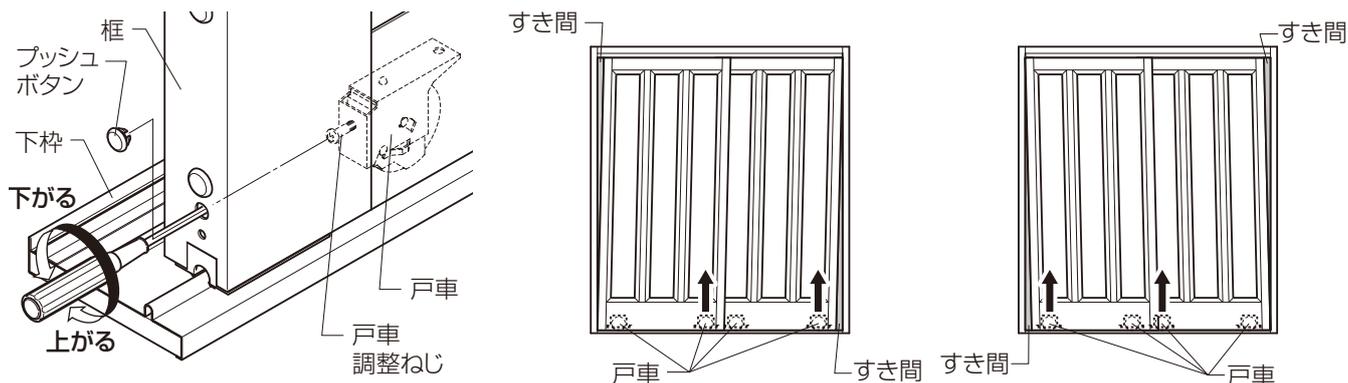


お願い

※縦枠と縦枠が平行でない場合以外は、戸車調整をしないでください。戸車を両方とも上げた状態にするとすき間が大きくなり、すき間風や砂ホコリが入りやすくなります。

■戸車の調整（戸車の調整）

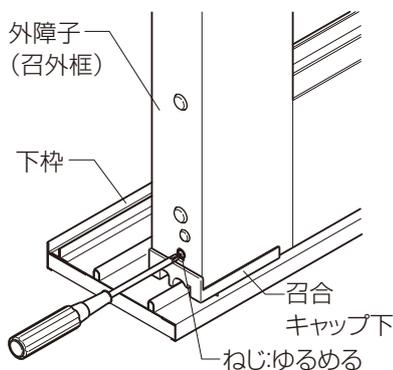
- 障子の納まりが悪い（縦枠と縦枠が平行でない）場合は、戸車調整ねじを回して障子の傾き・ズレを直し、縦枠と縦枠が平行になるように調整してください。
（戸車調整幅 SG・PG：上方に約 5mm）



※障子によって上図と違うタイプもありますが、調整方法は同様です。

■召合キャップ下の調整

（召外・召内）：PG



- 障子を閉めた状態で召外・召内の下部キャップのねじをゆるめて下げ、下枠に気密ヒレを当ててねじを締めます。（ヒレ保護のため、召外・召内の下部キャップは出荷時に上げてあります。必ず下げて、すき間をなくしてください。）

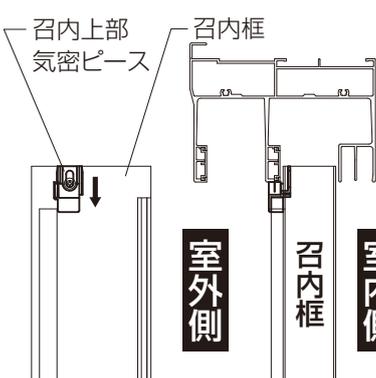
■召合気密ピースの調整

（召外・召内）：SG

- 障子を閉めた状態で下部キャップ・気密ピース取付けねじをドライバーでゆるめて、ヒレが図のように当たる設定となるように調整してください。

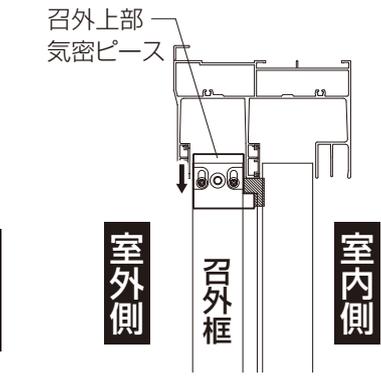
〈手動〉

【召内上部気密ピースの調整】



〈手動以外〉

【召外上部気密ピースの調整】



■内額縁の取付け

※内額縁は、23 (小)・40 (大) の2種類あります。現場の納まりに合わせて選択した部材を取付けてください。

1 内額縁の切詰め

①現場の納まりに合わせて、内額縁を必要な長さに切詰めます。

※内額縁は H、W で発注した場合、

23 (小)：内額縁 H = H + 22、内額縁 W = W + 5

40 (大)：内額縁 H = H + 39、内額縁 W = W + 5
の設定です。

②既設の室内額縁の納まりに合わせて、内額縁を必要に応じて切断します。

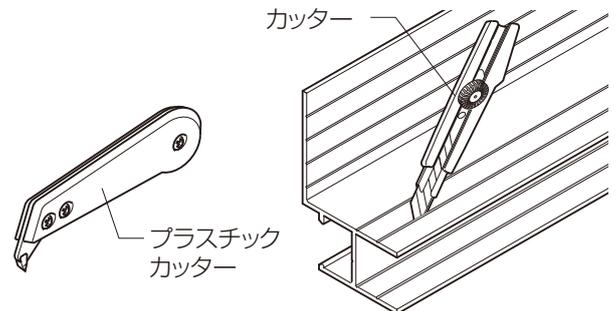
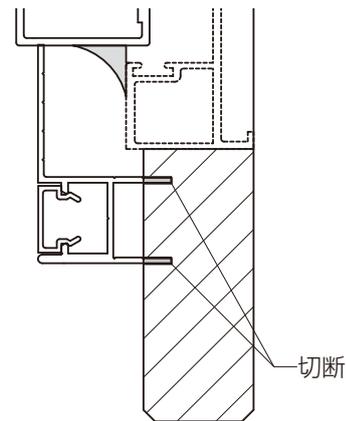
【切断方法1】…カッター・ペンチを使用する場合

●内額縁の裏面にある溝から、納まりに合う位置の溝にカッター（プラスチックカッターなど）で部材全長に溝を切込みます。この時アルミ型材の厚みを6割以上切込んでください。



●ペンチ（モンキーレンチなど）で下図のように3段階の角度にわけて折り曲げます。

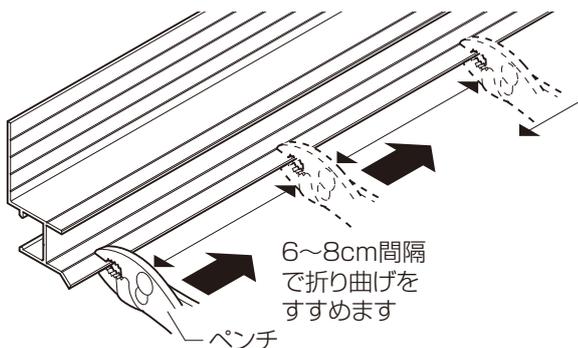
①段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げます。同じように②段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げてから、③段目まで折り曲げて切離します。木目色の場合、最後に木目シート1枚でつながっている状態になってからカッターで木目シートを切離してください。



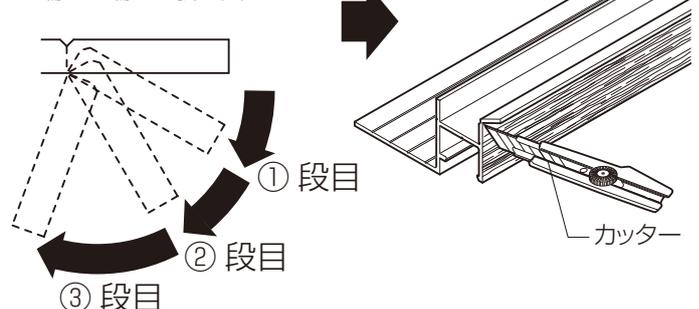
お願い

※無理に折り曲げたり、部分的に1度で折り曲げないでください。ひずみの発生や、木目色の場合木目シートがはがれるおそれがあります。折り曲げがかたい場合はもう一度カッターなどで溝を深く切込みなおしてください。

※サンダーなど、熱を発する刃物で切断しないでください。木目シートやアルミ表面が焼けるおそれがあります。



3段階の角度にわけて部材の端から端まで折り曲げます



【切断方法2】…丸ノコを使用する場合

●納まりに合う位置に印を付け、丸ノコで切断します。

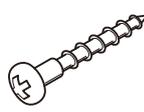
2 内額縁の取付け

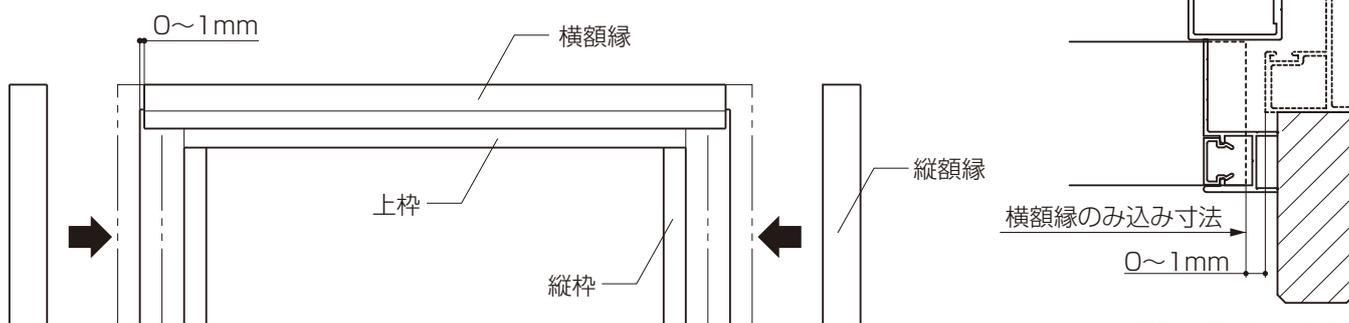
※㉓丸木ねじφ 3.8 × 32 (㉔φ 3.8 × 50) で取付けます。

- ①既設枠が隠れるようにし、下図の位置に横額縁を取付けます。
- ②横額縁に溝フタを取付けます。
- ③既設枠が隠れるようにし、切欠き部を横額縁にはめて縦額縁を取付けます。
- ④縦額縁に溝フタを取付けます。

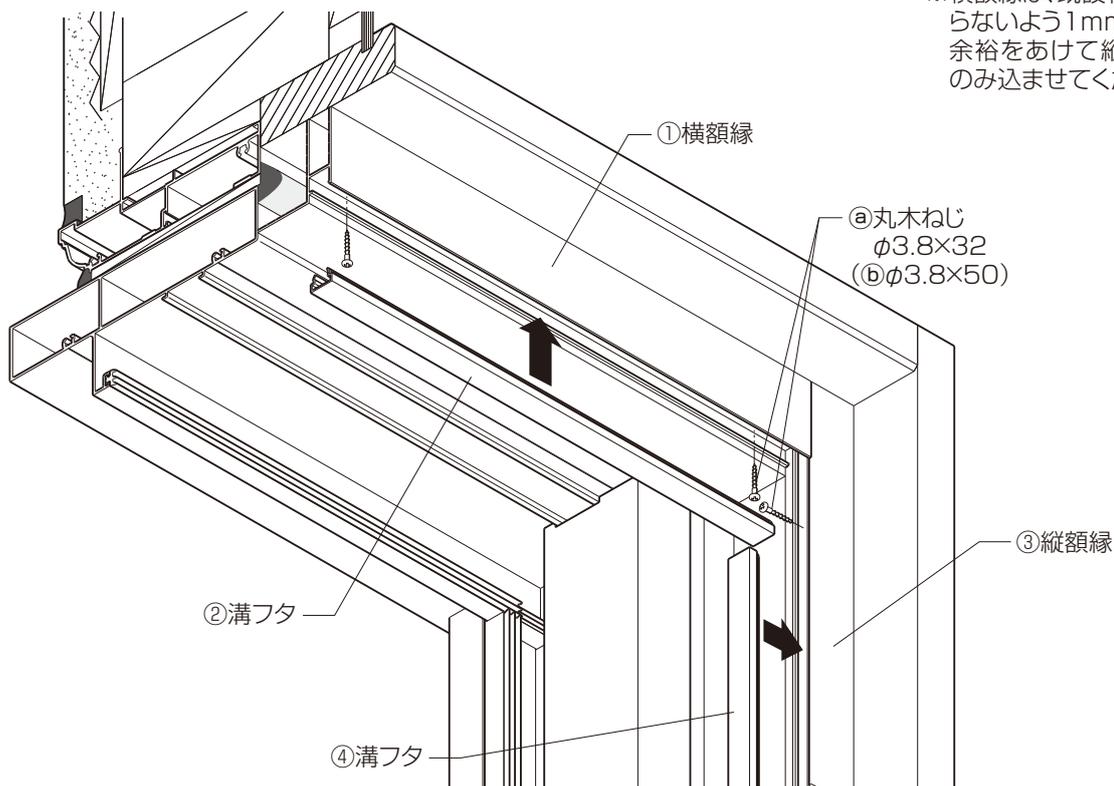
※溝フタは完全にはめ込んだことを確認してください。

■使用ねじ一覧

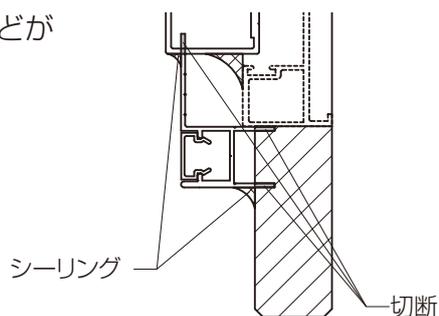
㉓	㉔
内額縁 (小) 取付け用	内額縁 (大) 取付け用
	
丸木ねじφ 3.8 × 32	丸木ねじφ 3.8 × 50



※横額縁は、既設枠にあたらぬよう1mm程度の余裕をあけて縦額縁にのみ込ませてください。



※内額縁を切断し、切り口が目立つ場合や、既設の室内額縁などが反っている場合は、シーリングで隠してください。



■外額縁取付け前の確認事項

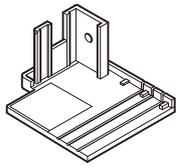
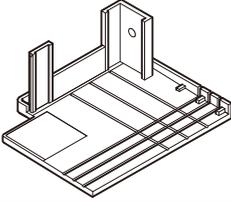
- 巾木プレートをご使用される場合は、外額縁取付け前に必ず巾木アタッチメントに巾木プレートを納めてください。
- 外額縁を取付けた後では巾木プレートは取付けできませんのでご注意ください。

■外額縁 25・50（一体型）の取付け

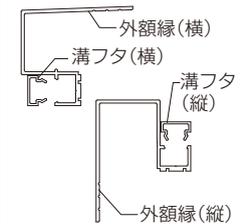
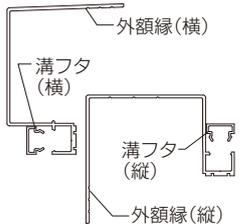
※外額縁は、一体型の 25・50、分割型の 25・50・75・100・150 の 7 種類があります。現場の納まりに合わせて部材を選択し、取付けてください。

※取付けの図はすべて外額縁 25 で説明しています。

■使用ねじ・部品一覧

①	②	③
額縁取付け用	額縁キャップ (外額縁 25 用)	額縁キャップ (外額縁 50 用)
 なべドリルねじ $\phi 4 \times 13$		

■部材一覧表

外額縁 25	外額縁 50
	

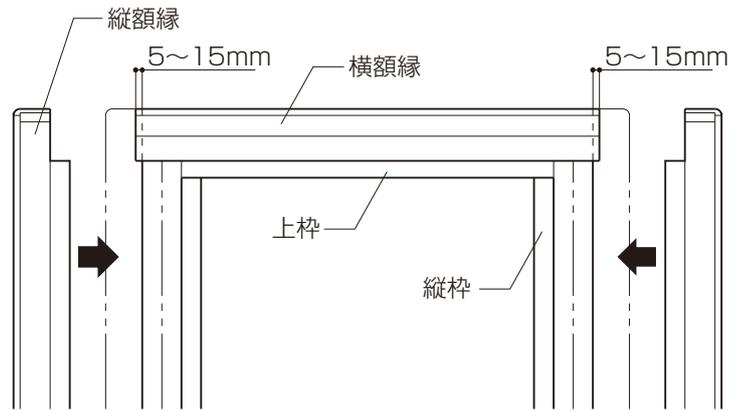
1 切詰め加工

- ①外額縁（横）、溝フタ（横）の切断寸法は、下表の切断寸法計算式より算出して切詰めてください。

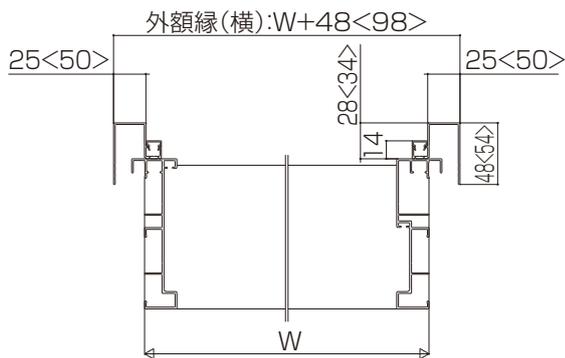
■切詰寸法計算式

部材名	切断寸法計算式
外額縁 25・50（横）	$W + 20$
溝フタ（横）	$W + 20$

※外額縁（縦）、溝フタ（縦）は、現場の納まりに合わせて切詰めてください。

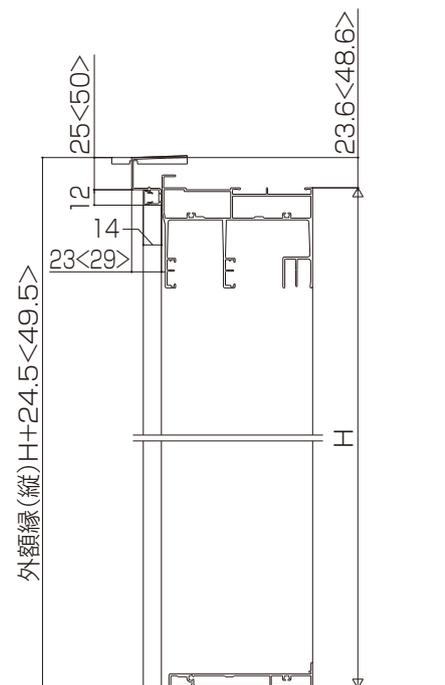


●横断面図



< >内寸法は外額縁50を示します。

●縦断面図



< >内寸法は外額縁50を示します。

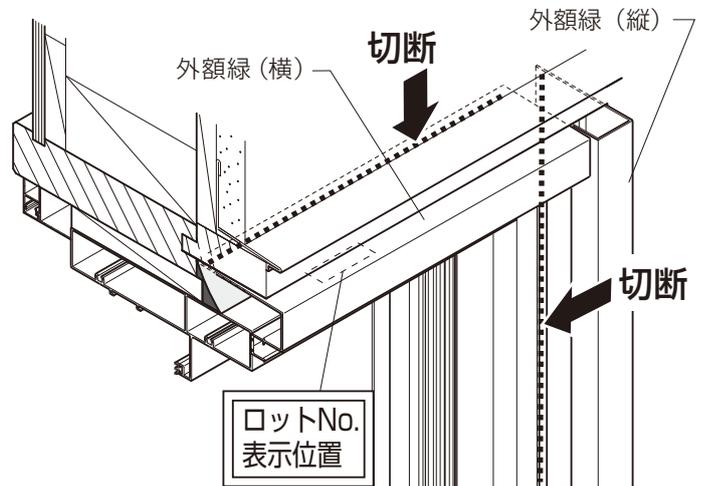
- ②外壁の納まりに合わせて、外額縁を必要に応じて切断します。

【切断方法1】…カッター・ペンチを使用する場合

- 外額縁の裏面にある溝から、納まりに合う位置の溝にカッター（プラスチックカッター等）で部材全長に溝を切込みます。この時アルミ材の厚みを6割以上切込んでください。

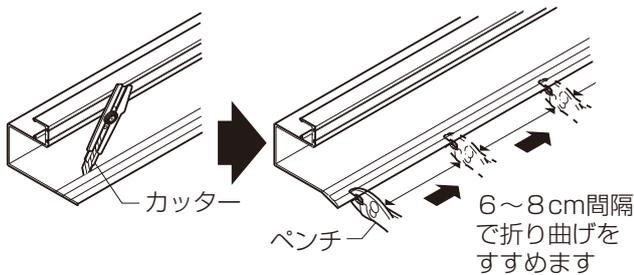


- ペンチ（モンキーレンチ等）で下図のように3段階の角度にわけて折り曲げます。①段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げます。同じように②段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げてから、③段目まで折り曲げて切離します。木目色の場合、最後に木目シート1枚でつながっている状態になってからカッターで木目シートを切離してください。

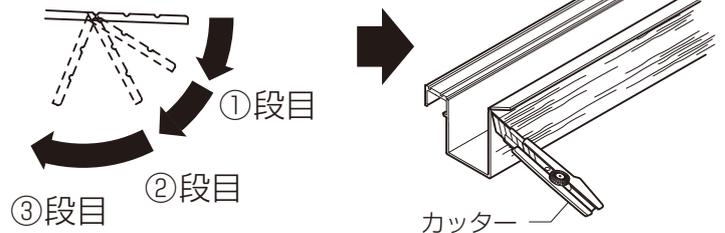


お願い

- ※無理に折り曲げたり、部分的に1度で折り曲げないでください。ひずみの発生や、木目色の場合木目シートがはがれるおそれがあります。折り曲げがかたい場合はもう一度カッターなどで溝を深く切込みなおしてください。
- ※サンダーなど、熱を発する刃物で切断しないでください。木目シートやアルミ表面が焼けるおそれがあります。



3段階の角度にわけて部材の端から端まで折り曲げます

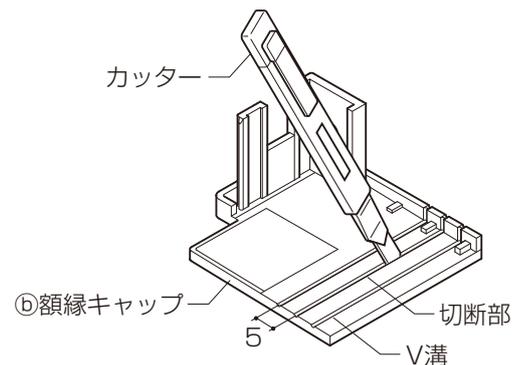


【切断方法2】…丸ノコを使用する場合

- 納まりに合う位置に印を付け、丸ノコで切断します。

2 額縁キャップの切断

- 納まりに合わせて切詰めた外額縁と同じ位置にくるV溝に、カッターで数回切れ目を入れ、カットしてください。
- ※額縁キャップには、カッターで切りやすいように5mm間隔でV溝が入っています。



3 外額縁の取付け

①外額縁（横）を、㊸なベドリルねじφ4×13で枠に取付けます。

②溝フタ（横）を外額縁（横）に取付けます。

※溝フタは、完全にはめ込んだことを確認してください。

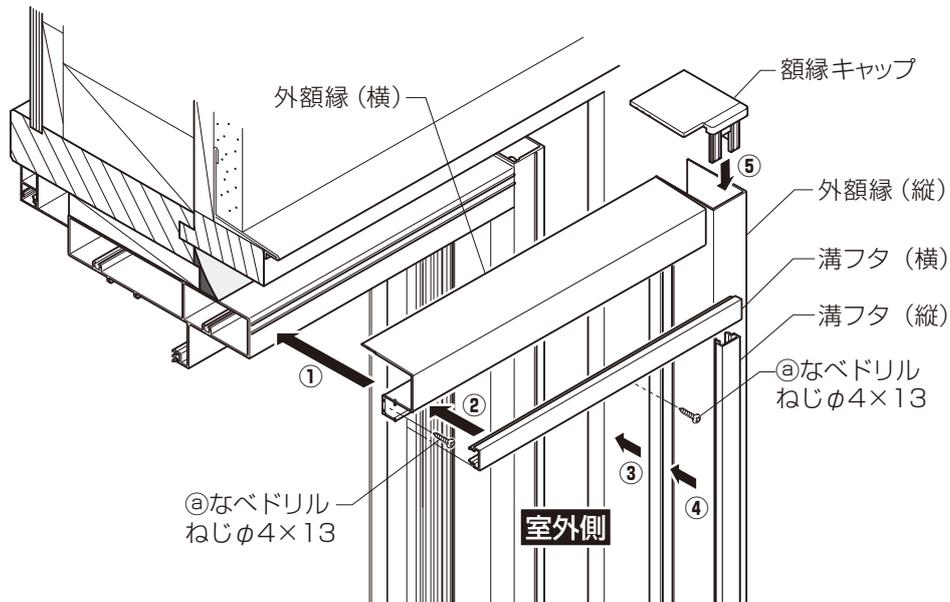
③外額縁（縦）を、㊸なベドリルねじφ4×13で枠に取付けます。

④溝フタ（縦）を外額縁（縦）に取付けます。

※溝フタは、完全にはめ込んだことを確認してください。

⑤裏面の両面テープをはがして、額縁キャップを外額縁（縦）に取付けてください。

※外額縁（縦）と外額縁（横）の間にすき間がある場合は、位置を調整し、外額縁（横）を室外側に起こしながら、額縁キャップを張り付けてください。



〈外額縁 25・50〉

●外額縁の取付けは、各調整範囲内で納めてください。

※ 〈 〉 内は、額縁基本取付け位置

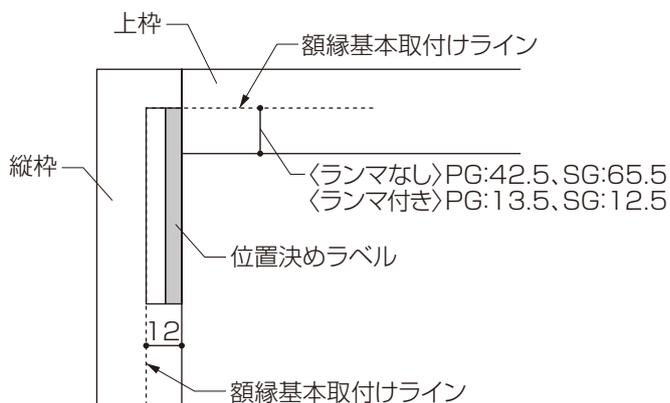
		SG 仕様	PG 仕様
上枠	ランマ付き	<p>0~12.5 <12.5></p>	<p>0~13.5 <13.5></p>
	ランマなし	<p>59~65.5 <65.5></p>	<p>36~42.5 <42.5></p>

※ 〈 〉 内は、額縁基本取付け位置

	SG 仕様	PG 仕様
縦枠		

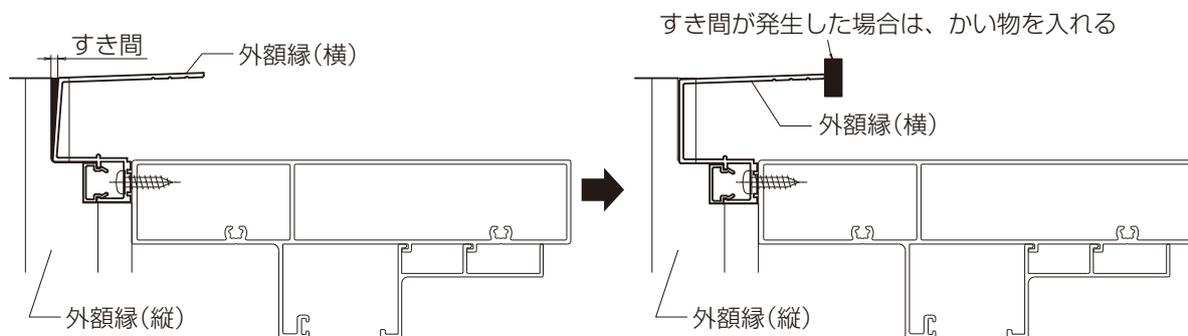
■位置決めラベルの張付け

※外額縁は、位置決めラベルの 部に重ならない位置に取付けてください。



■すき間発生時の対応

外額縁取付け時、現場の状況により外額縁（縦）の加工部にすき間があくことがあります。すき間発生時は、外額縁（横）の後ろにかい物を入れて外額縁（横）をおこしてください。



※外周部のシーリング処理前に実施してください。

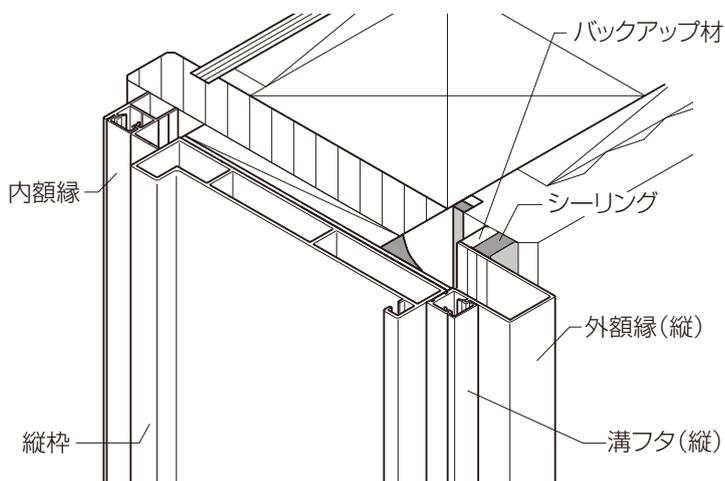
■外周部のシーリング処理

●雨仕舞いのため、外周部にシーリング材を充てんします。

※下枠部・外額縁下部については、全面シーリングをせずに、両端部から水が抜けるようにすき間を確保してください。

▲ 注 意

●外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。



■外額縁取付け前の確認事項

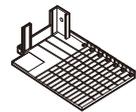
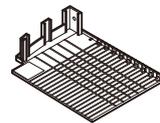
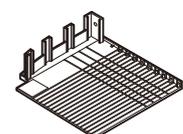
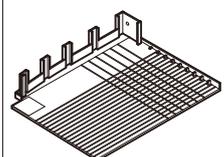
- 巾木プレートをご使用される場合は、外額縁取付け前に必ず巾木アタッチメントに巾木プレートを納めてください。
- 外額縁を取付けた後では巾木プレートは取付けできませんのでご注意ください。

■外額縁 25・50・75・100・150（分割型）の取付け

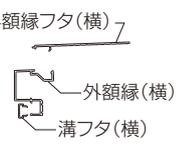
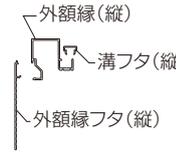
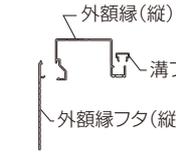
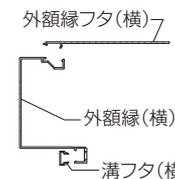
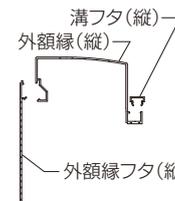
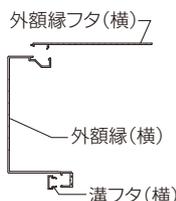
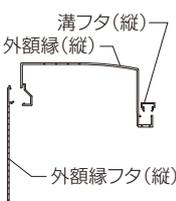
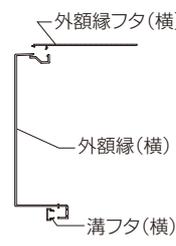
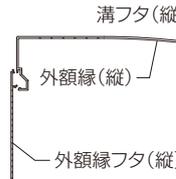
※外額縁は、一体型の25・50、分割型の25・50・75・100・150の7種類があります。現場の納まりに合わせて部材を選択し、取付けてください。

※取付けの図は、すべて外額縁75で説明しています。

■使用ねじ・部品一覧

a	b	c	d	e	f
額縁取付け用	額縁キャップ (外額縁25用)	額縁キャップ (外額縁50用)	額縁キャップ (外額縁75用)	額縁キャップ (外額縁100用)	額縁キャップ (外額縁150用)
					
なべドリルねじφ4×13					

■部材一覧表

外額縁25	外額縁50	外額縁75	外額縁100	外額縁150
 <p>外額縁フタ(横) 外額縁(横) 溝フタ(横)</p>  <p>外額縁(縦) 溝フタ(縦) 外額縁フタ(縦)</p>	 <p>外額縁フタ(横) 外額縁(横) 溝フタ(横)</p>  <p>外額縁(縦) 溝フタ(縦) 外額縁フタ(縦)</p>	 <p>外額縁フタ(横) 外額縁(横) 溝フタ(横)</p>  <p>溝フタ(縦) 外額縁(縦) 外額縁フタ(縦)</p>	 <p>外額縁フタ(横) 外額縁(横) 溝フタ(横)</p>  <p>溝フタ(縦) 外額縁(縦) 外額縁フタ(縦)</p>	 <p>外額縁フタ(横) 外額縁(横) 溝フタ(横)</p>  <p>溝フタ(縦) 外額縁(縦) 外額縁フタ(縦)</p>

1 切詰め加工

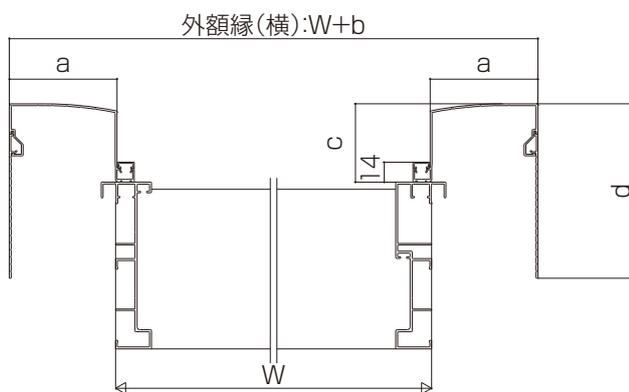
①外額縁（横）、溝フタ（横）、外額縁フタ（横）の切断寸法は、下表の切断寸法計算式より算出して切詰めてください。

■切詰寸法計算式

部材名	切断寸法計算式
外額縁 25・50・75・100・150(横)	$W + 20$
溝フタ	$W + 20$
外額縁フタ	$W + 20$

※外額縁（縦）、溝フタ（縦）、外額縁フタ（縦）は、現場の納まりに合わせて切詰めてください。

●横断面図

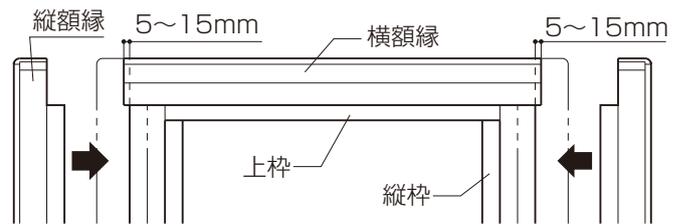


②外壁の納まりに合わせて、外額縁フタを必要に応じて切断します。

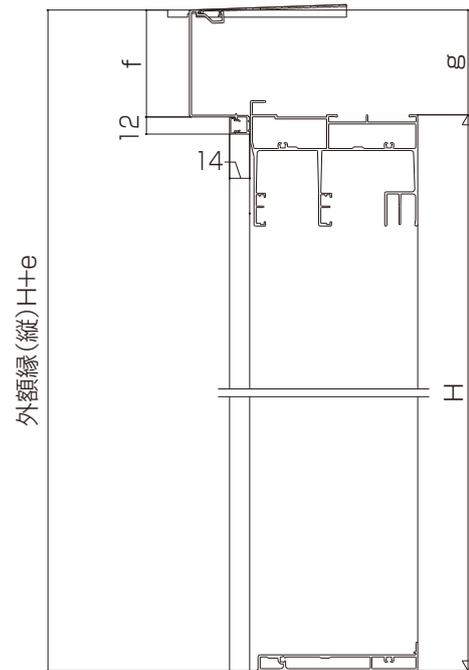
※外額縁フタを外額縁にかん合させた状態で納まりを確認してください。

■寸法表

	a	b	c	d	e	f	g
25	25	55	28	99	24.5	25	23.5
50	50	105	34	99	49.5	50	48.5
75	75	148	55	122.4	74.5	75	73.5
100	100	198	55	122.4	89.5	90	88.5
150	150	298	65	132.4	149.5	150	148.5



●縦断面図

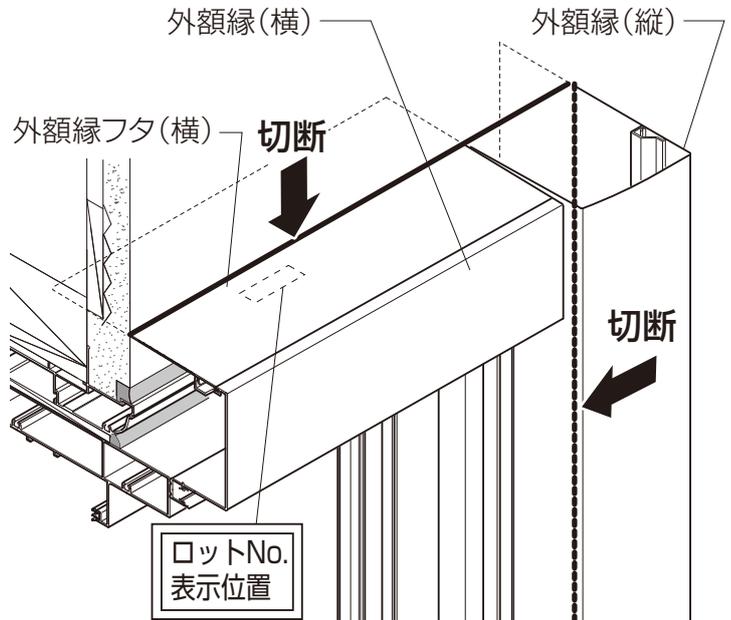


【切断方法1】…カッター・ペンチを使用する場合

- 外額縁の裏面にある溝から、納まりに合う位置の溝にカッター(プラスチックカッターなど)で部材全長に溝を切込みます。この時アルミ型材の厚みを6割以上切込んでください。

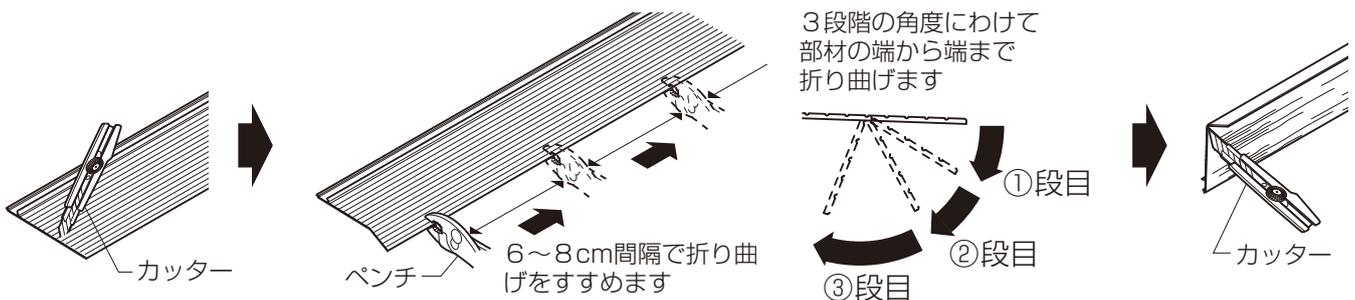


- ↓
- ペンチ(モンキーレンチなど)で下図のように3段階の角度にわけて折り曲げます。
①段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げます。同じように②段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げてから、③段目まで折り曲げて切離します。木目色の場合、最後に木目シート1枚でつながっている状態になってからカッターで木目シートを切離してください。



お願い

- ※無理に折り曲げたり、部分的に1度で折り曲げないでください。ひずみの発生や、木目色の場合木目シートがはがれるおそれがあります。折り曲げが難しい場合はもう一度カッターなどで溝を深く切込みなおしてください。
- ※サンダーなど、熱を発する刃物で切断しないでください。木目シートやアルミ表面が焼けるおそれがあります。



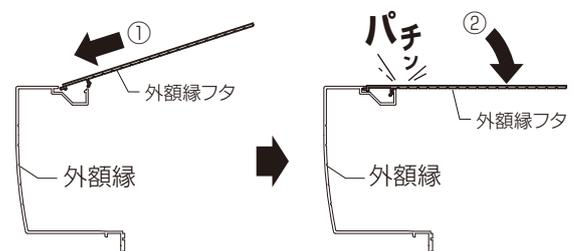
【切断方法2】…丸ノコを使用する場合

- 納まりに合う位置に印を付け、丸ノコで切断します。

② 外額縁と外額縁フタのかん合

- ①外額縁フタの先端を外額縁の溝に突き当てます。
- ②外額縁フタのツメが、外額縁にパチンとかん合するまで押し下げます。

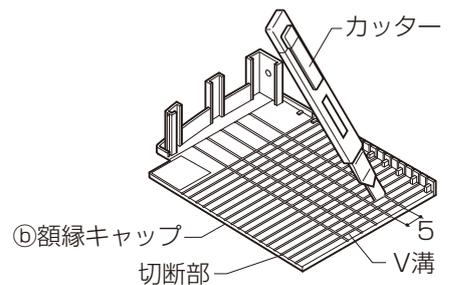
※かん合は、切断後に端部から行ってください。



3 額縁キャップの切断

●納まりに合わせて切詰めた外額縁と同じ位置にくるV溝に、
 カッターで数回切れ目を入れ、カットしてください。

※額縁キャップには、カッターで切りやすいように5mm間
 隔でV溝が入っています。



4 外額縁の取付け

①外額縁（横）を、㊸なベドリルねじφ4×13で枠に取付けます。

②溝フタ（横）を外額縁（横）に取付けます。

※溝フタは、完全にはめ込んだことを確認してください。

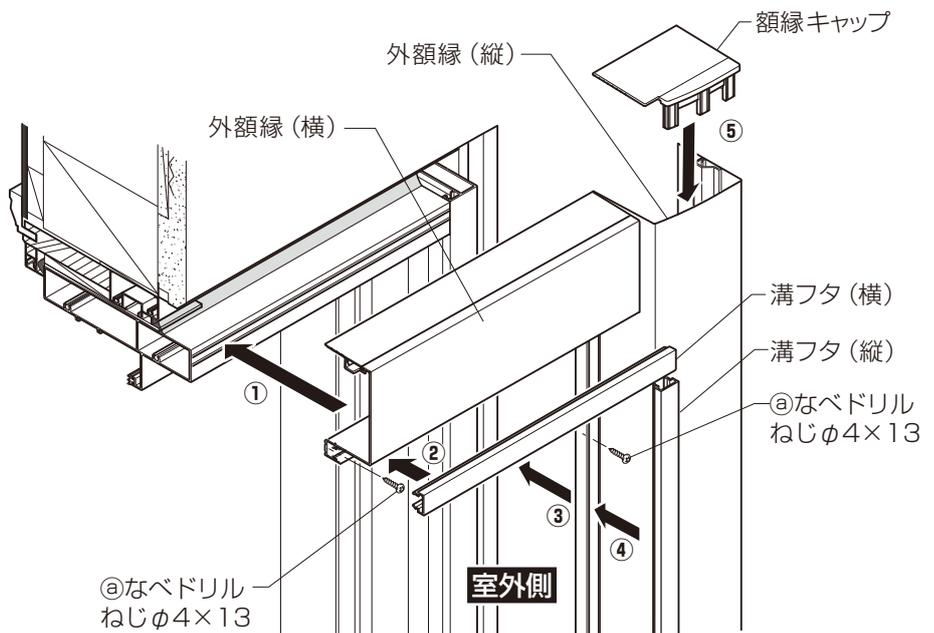
③外額縁（縦）を、㊸なベドリル
 ねじφ4×13で枠に取付
 けます。

④溝フタ（縦）を外額縁（縦）
 に取付けます。

※溝フタは、完全にはめ込んだ
 ことを確認してください。

⑤裏面の両面テープをはがして、
 額縁キャップを外額縁（縦）
 に取付けてください。

※外額縁（縦）と外額縁（横）
 の間にすき間がある場合は、
 位置を調整し、外額縁（横）
 を室外側に起こしながら、額
 縁キャップを張り付けてくだ
 さい。



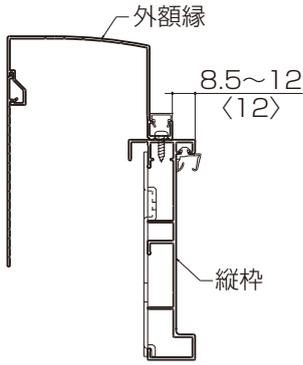
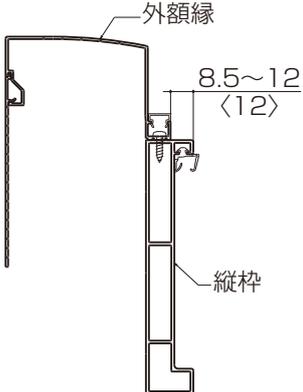
〈外額縁 25・50・75・100・150〉

●外額縁の取付けは、各調整範囲内で納めてください。

※ 〈 〉 内は、額縁基本取付け位置

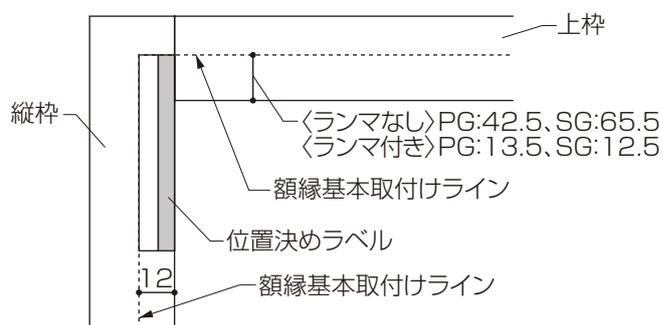
		SG 仕様	PG 仕様
上枠	ランマ付き		
	ランマなし		

※ 〈 〉 内は、額縁基本取付け位置

	SG 仕様	PG 仕様
縦枠		

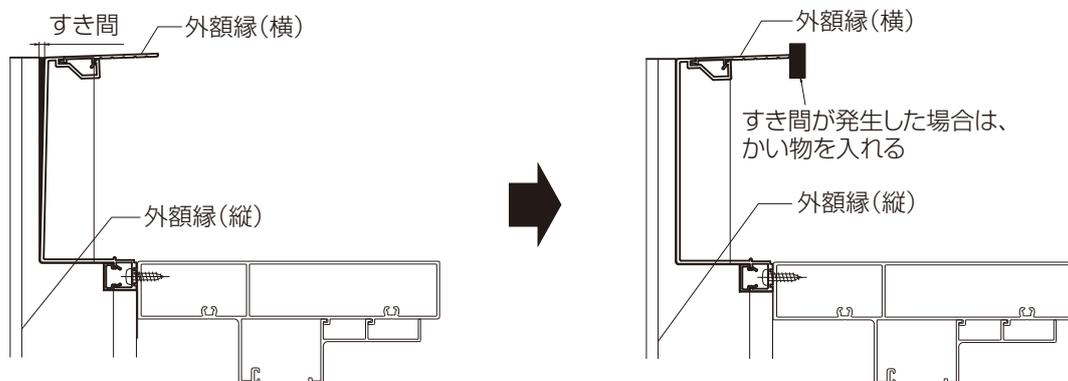
■位置決めラベルの張付け

※外額縁は、位置決めラベルの  部に重ならない位置に取付けてください。



■すき間発生時の対応

外額縁取付け時、現場の状況により外額縁（縦）の加工部にすき間があくことがあります。すき間発生時は、外額縁（横）の後ろにかい物を入れて外額縁（横）をおこしてください。



※外周部のシーリング処理前に実施してください。

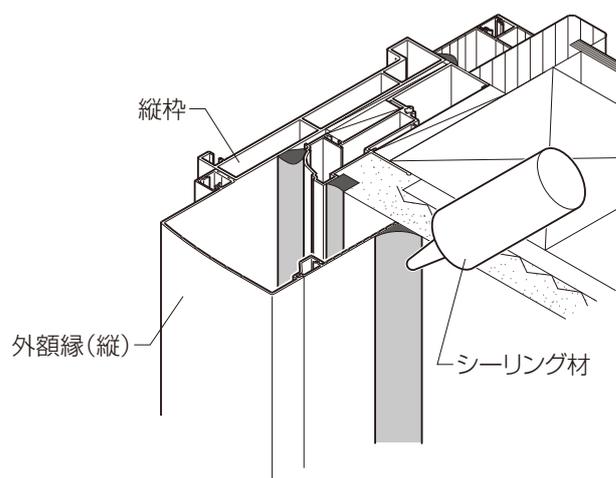
■外周部のシーリング処理

雨仕舞いのため、外周部にシーリング材を充てんします。

※下枠部・外額縁下部については、全面シーリングをせずに、両端部から水が抜けるようにすき間を確保してください。

▲注意

- 外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。



■別途有償品：Lアングル、巾木プレート、巾木アタッチメントの取付け

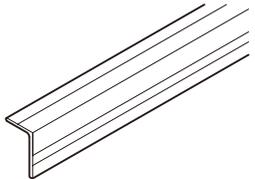
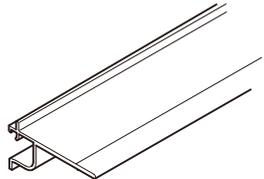
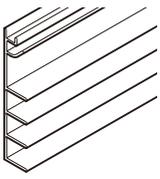
■別途有償品取付け前の確認事項

- Lアングル、巾木アタッチメントをご使用される場合は、枠の組立て前に下枠へ先に取付けることをお勧めします。
- 枠を組立て、製品の取付けをした後では別途有償品が取付かないためご注意ください。

■使用ねじ一覧

(a)	(b)	(c)	(d)
Lアングル取付用	Lアングル固定用	巾木アタッチメント固定用	巾木プレート固定用
 M4×8 なべドリル小ねじ ※巾木アタッチメントを取付ける場合は使用しません。	 φ5×70 なべセルフタッピン アンカーねじ	 M4×10 なべドリル小ねじ	 φ4×13 なべドリルねじ

■使用部品一覧

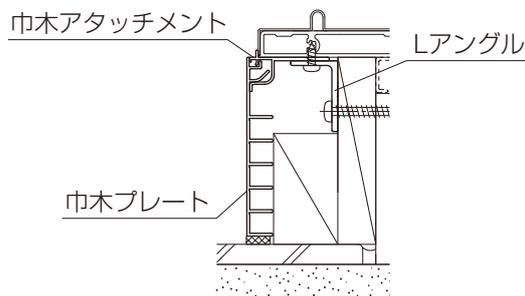
Lアングル	巾木アタッチメント	巾木プレート
		

- 別途有償品には3つの納まりパターンがあります。

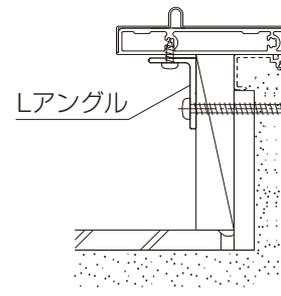
※巾木プレートを取付ける場合は、必ず巾木アタッチメントを使用してください。

※下枠用Lアングルは下枠とポーチ面の立上りが大きい納まりに使用してください。

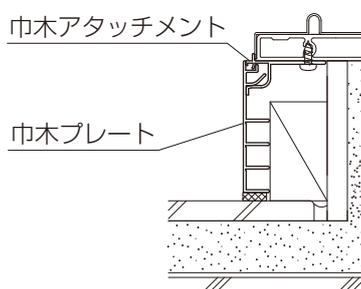
納まり① 巾木プレート、巾木アタッチメントとLアングルを使用する場合



納まり② Lアングルのみを使用する場合



納まり③ 巾木プレート、巾木アタッチメントのみを使用する場合



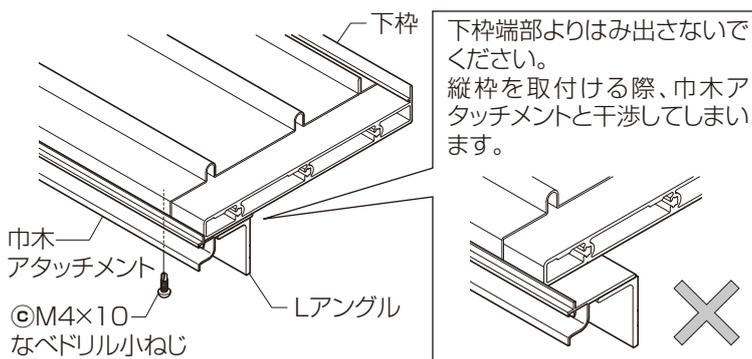
●下枠用Lアングル・巾木アタッチメントの取付け

※取付手順は納まり①で説明しています。納まり②、納まり③の場合も取付手順は同様です。

①下枠へのLアングル、巾木アタッチメント取付け方法

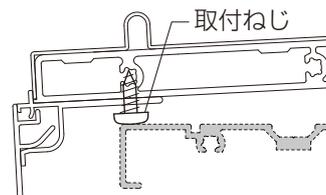
巾木アタッチメント、Lアングルを下枠からはみ出さないように◎なべドリル小ねじM4×10で固定します。

※巾木アタッチメント、Lアングル取付け穴から下枠にφ3.5の下穴をあけることをおすすめいたします。



②製品の取付け(P14~)

※巾木アタッチ取付けねじが既設枠に干渉していないか確認してから製品の取付けを行ってください。干渉してしまうと図のように製品が平らに取付かないおそれがあります。

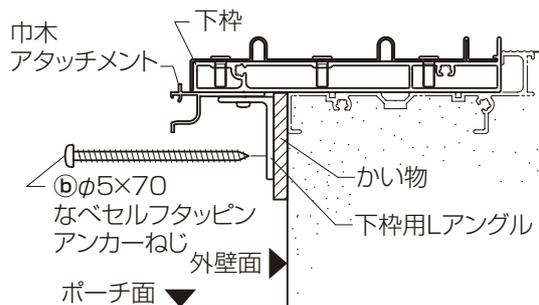
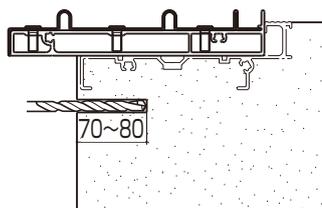


③Lアングル固定方法

ドリルでφ4.3の穴をあけてから◎φ5×70なべセルフタッピングアンカーねじで固定してください。

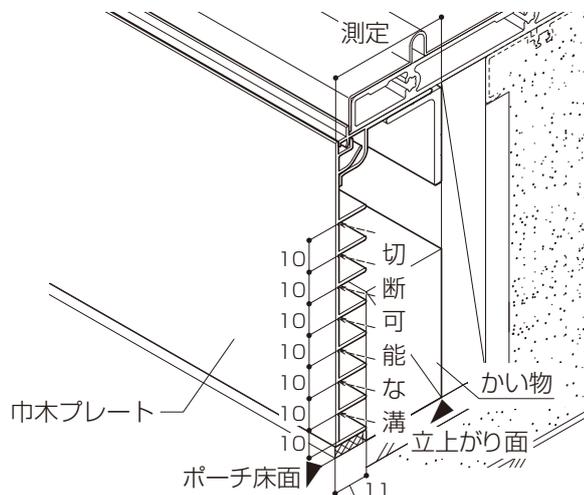
■Lアングル固定方法

ドリルでφ4.3の穴をあけます。



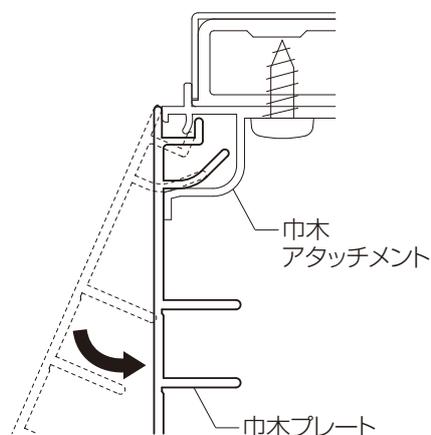
④-1 事前準備

- ・図の『測定』を予め測定し、かいものの準備をしてください。
- ・ポーチ面と下枠との段差に合わせ、シーリング代を確保した状態で巾木プレートを切断してください。



④-2 巾木プレートの取付け方法

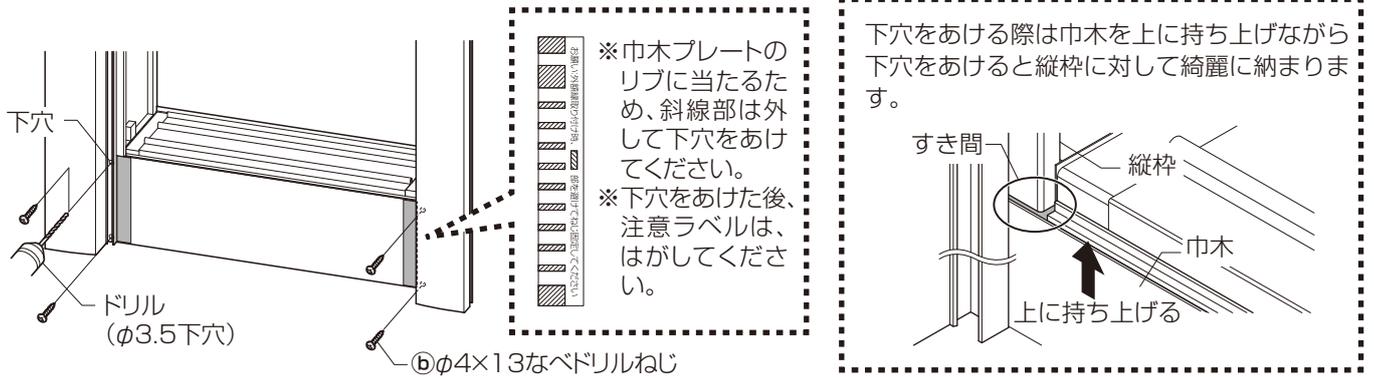
図のように巾木プレートを回転させながら巾木アタッチメントに取付けます。



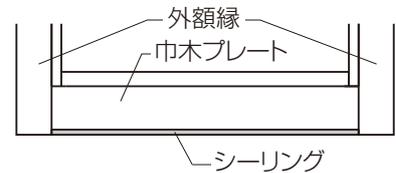
測定した寸法ー11mmにした厚みのかい物を、巾木プレートと同じ全長寸法で準備してください。

⑤巾木プレートの固定方法

額縁取付け(P20)の際に図のようにφ3.5の下穴をあけてから⑥なベドリルねじφ4×13で固定します。



⑥図のようにシーリングで止水処理を行ってください。



■下枠段差緩和材（別途有償品）の取付け

●お願い

※この部材は、新しい枠を取付けた際、室内側の土間の段差が大きい場合に使用してください。

▲注意

- 下枠段差緩和材の両面テープの接着力が低下し、下枠段差緩和材が外れ、思わぬケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・張直しをしないでください。
- ・取付け前に床を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
- ・床に強く押付け、必ず圧着してください。
- ・接着効果を確保するため、24時間放置してください。

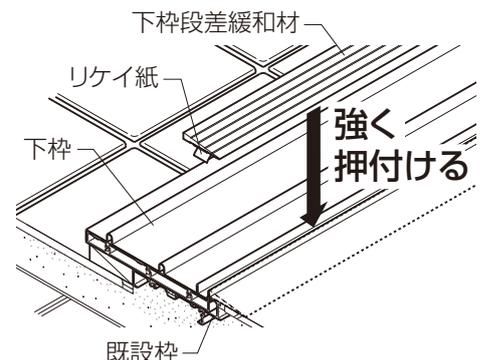
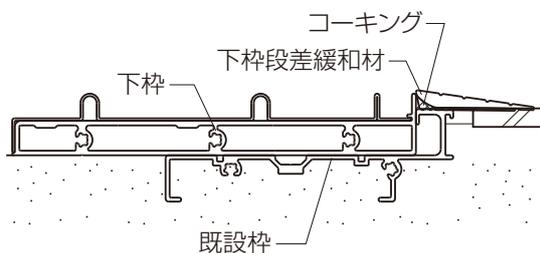
①下枠段差緩和材を現場の納まりに合わせて切詰めます。

②下枠段差緩和材の両面テープのリケイ紙をはがし、床に強く押付けて圧着してください。

■新しい枠の下枠と床の段差が大きい時

●段差部分にコーキングし、その上到下枠段差緩和材を固定してください。

その際、下枠段差緩和材の両面テープのリケイ紙をはがしてください。



リシエント玄関引戸 取付けチェックポイント集

1. 現場チェック項目一覧
2. 現場調査前確認事項
3. 現場調査時確認事項
4. 取付け現場の採寸時確認事項

1. 現場チェック項目一覧

■現場チェック項目一覧

※製品を正しく取付けいただくために、下記項目を必ず確認してください。

	チェック項目	チェック
事前に電話などで確認する項目	取付ける建物の構造は木造土間納まりですか？	はい・いいえ
現場にて確認する項目	取付ける柱への枠の取付けねじのかかり寸法は 20mm 以上ですか？	はい・いいえ
	取付ける柱が腐っていませんか？	はい・いいえ
	既設枠開口周り（外壁など）に漏水のあとはありませんか？	はい・いいえ
	取付ける柱への枠の取付けねじのねじ込みトルクは、1.2N・m（12kgf・cm）以上ですか？	はい・いいえ
	周辺環境（軒天、入隅納まり）において、製品取付けに支障はありませんか？	はい・いいえ

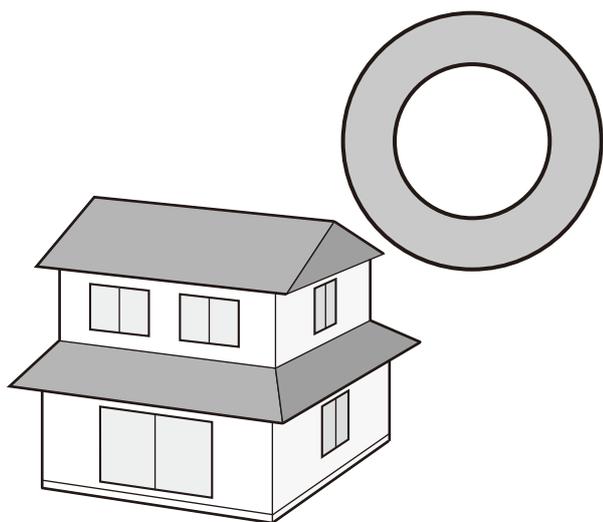
2. 現場調査前確認事項

●リシエント玄関引戸は木造専用です。

※木造以外の躯体構造への取付けはできません。

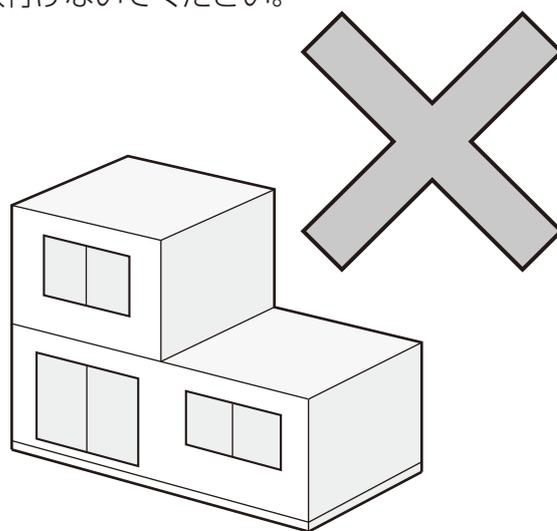
■取付け可

在来木軸工法、204 構造など木造納まりに取付けてください。



■取付け不可

鉄骨造、RC 造、ALC 納まりなどには取付けないでください。

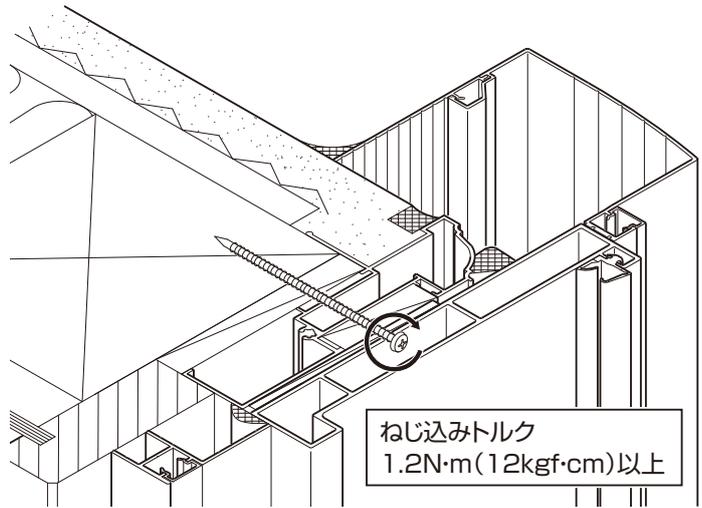
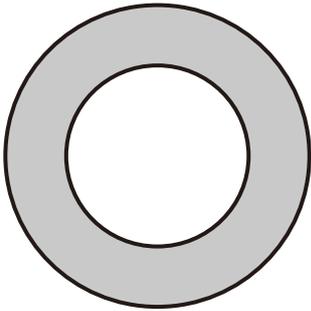


3-1. 現場調査時確認事項

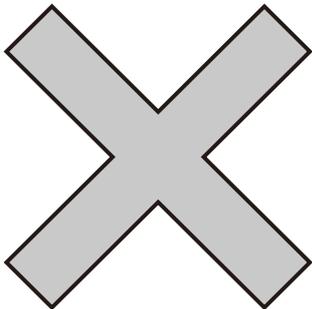
● 躯体取付けねじのねじ込みトルクが $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ ($12\text{kgf}\cdot\text{cm}$) 以上あることを確認してください。

■ 取付け可

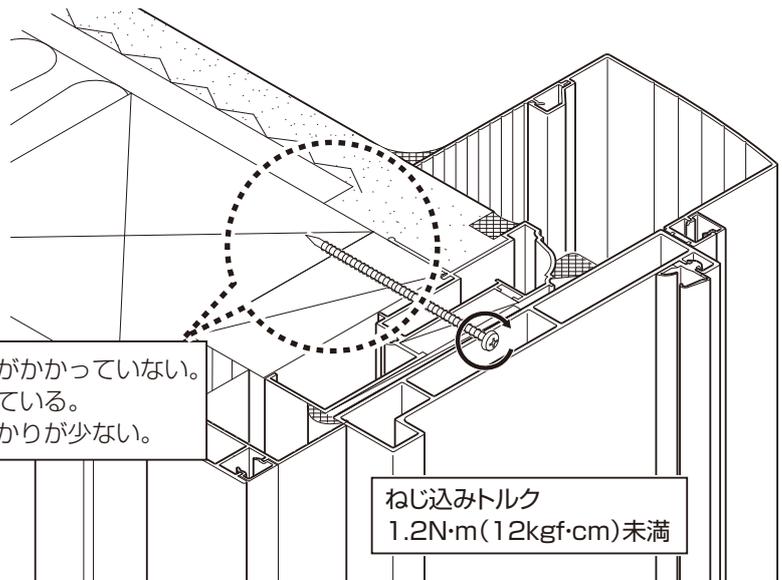
指定のねじ（なべタッピンねじ $\phi 4 \times 60$ ）が上記の柱位置で $1.2\text{N}\cdot\text{m}$ ($12\text{kgf}\cdot\text{cm}$) 以上のねじ込みトルクがあることを確認してください。



■ 取付け不可

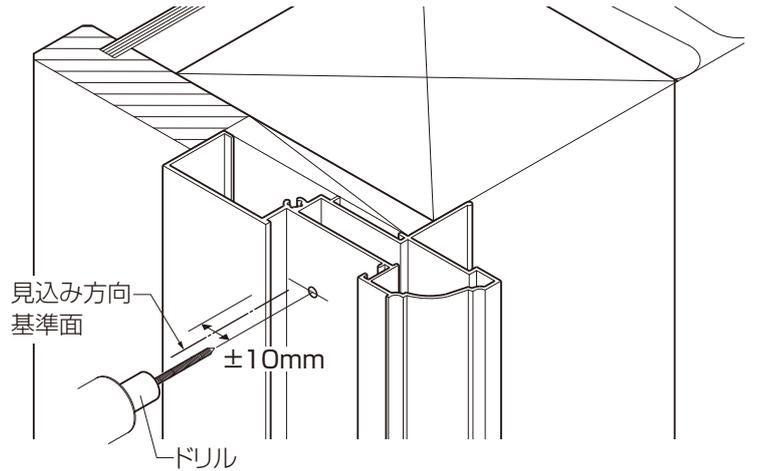


柱にねじがかかっていない。
柱が腐っている。
ねじのかかりが少ない。

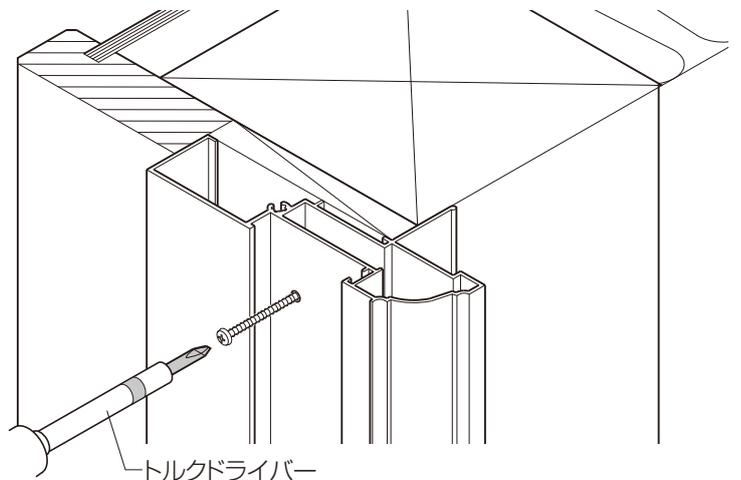


[ねじ込みトルクの確認方法]

- ①新しい枠を取付ける際の既設枠の見込み方向基準面付近±10mmの位置にφ5の穴をあけます。

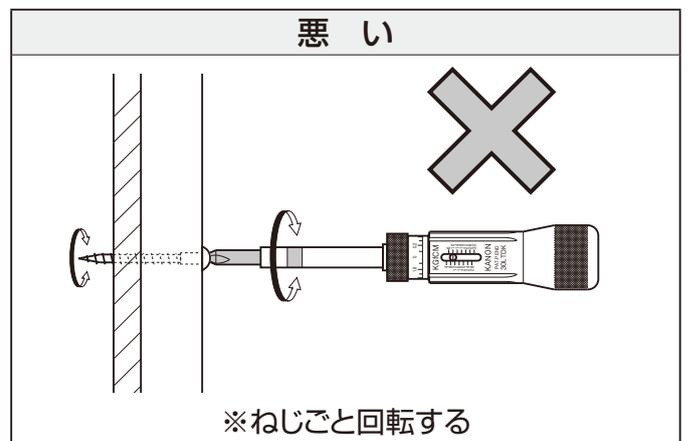
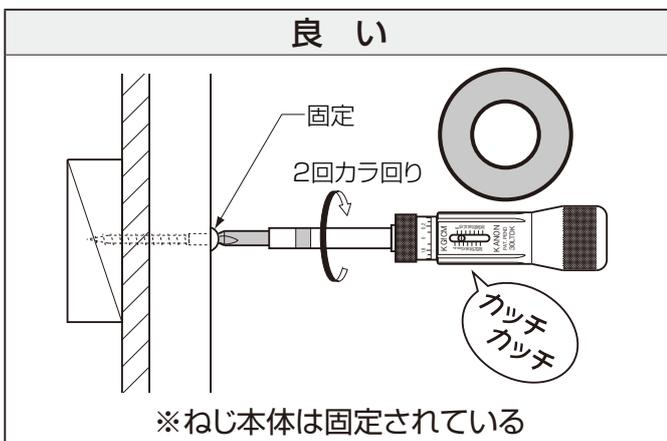
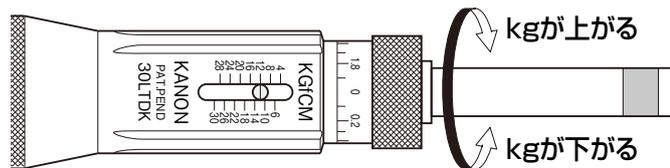


- ②新しい枠の取付けねじ（なべタツピンφ4×60（1種））を用いて取付けます。そのときのねじ込みトルクは、1.2N・m（12kgf・cm）以上であることを確認してください。
※確認後の穴はシーリング処理にて穴をふさいでください。



■トルクドライバー目盛合わせ

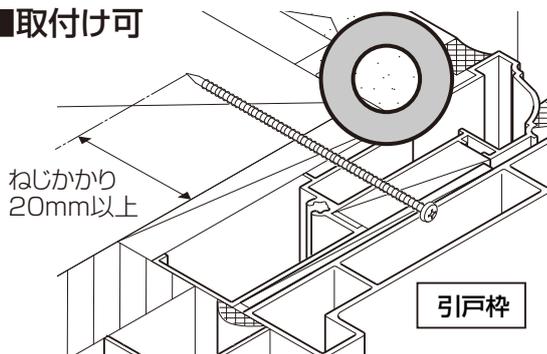
- トルクドライバー目盛り合せ設定
1.2N・m（12kgf・cm）



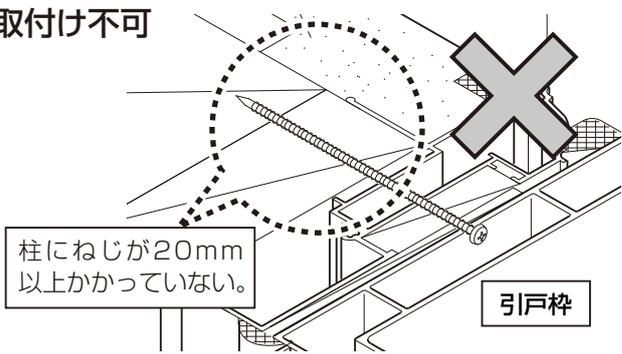
3-2. 現場調査時確認事項

● 桝取付けねじは柱（躯体）に 20mm 以上かかることを確認してください。

■ 取付け可

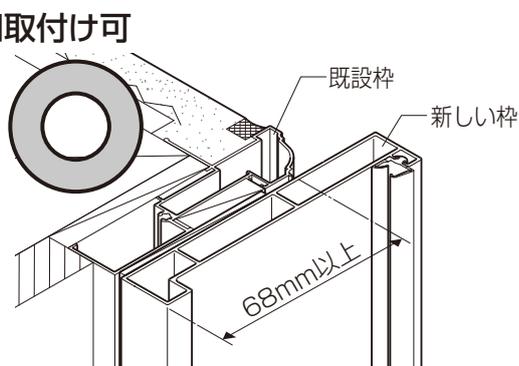


■ 取付け不可

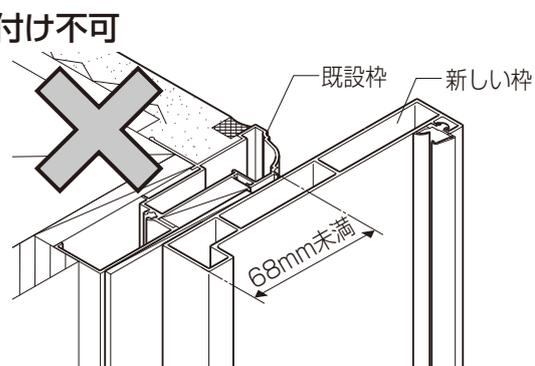


● 新しい桝は既設桝に 68mm 以上かかることを確認してください。

■ 取付け可



■ 取付け不可

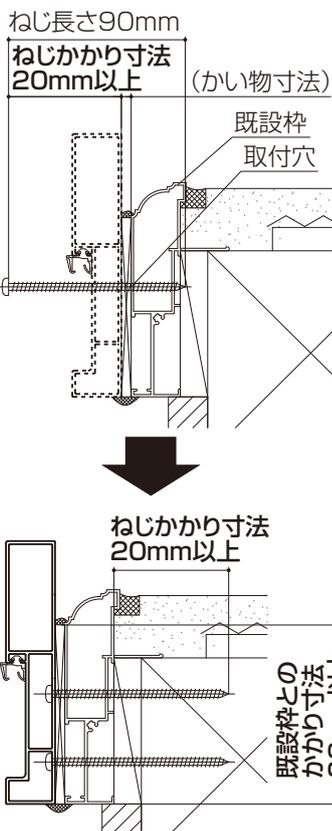


〔ねじかかり寸法の確認方法〕

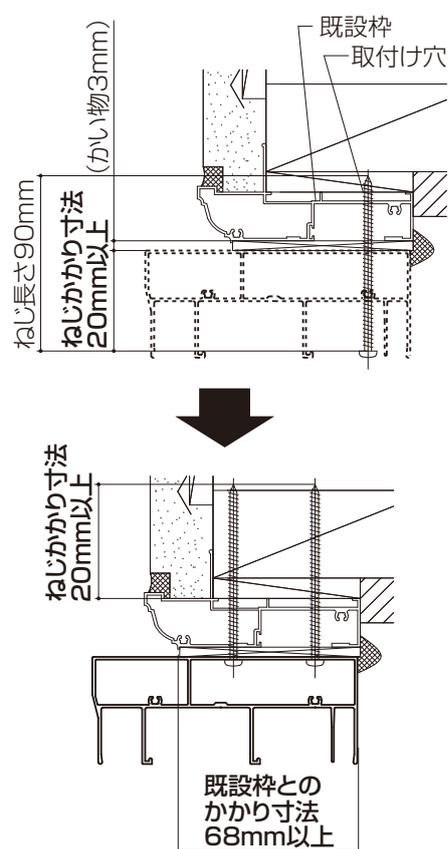
ねじ込みトルクの確認時にあけた既設桝の取付け穴にねじを入れ、取付け穴からねじ頭までの長さが 20mm 以上であることを確認してください。

※ねじ長さ 90mm

（縦桝の場合）



（上桝の場合）



株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 (ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 (祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号 MAM-787D	事業所コード AXU6	2024.11.11発行
---------------	-------------	--------------

